

Kvast-o 総飾ヲカリ

総飾り附けむと働くヴァスト(く婆アすと)んと
倒けた刹那に板間に頭打つ

Kvazaū 〔接〕 怖も…の如く；さながら

さながらに嵐のあの如くなり
荒れたる状は怖も、ヴァーザ(苦場雑有)

Kverel-i 相争ふ，喧嘩す

喧嘩する奴は薪に油つき
火にヴァレーリ(燐べ伶利)に敵と相争ふ

Kverk-o 〔植〕 榆カツラ属，櫻

釜の下木の葉をヴァエルコ(くべる小)使を
危ぶみ櫻の割木あたへる

Kvestor-o 出納吏(羅馬)

出納吏ヴァエストーロ(ベスト労)尽して人民の
膏血搾り贅沢をする

Kviet-a 静かなる，落着ける，温マサシキ

生蛮がヴァエータ(首獲た)と落着ける
その行動の静かなるかな

Kvin 〔数〕 五

五大洲難ヴァイン(苦貧)乏に悩むもの
人類中の多数なりけり

Kvint-o 〔音〕 第五度音程

「ヴァイント」は第五度音程なりと曰ふ
この声音はエスペラント語

Kvintesenc-o 真髓，精髄，至精

真髓を「ヴァインテセンツォ」とエス語曰ふ
記憶便法の歌にやならない

Kvit-a 免除せられたる，自由なる，義務を果せる，

抜ひたる，負ふ所なき

犯罪を免除されたる，自由なる

人は漸くヴァイタす(首助タヌク)かる

Kvitanc-o 領収証

組合の領収証の奥書に
責任ある人のヴァタシツォ(首たんと)並ぶ
(首沢山は人名多數の意)

Kvocient-o 〔数〕 商

商人が養魚池用のヴァツィエント(窪地得むと)
足数運び奔走してゐる

L

L' 冠詞 La の省略

留守の「ル」はエス語冠詞の省略ぞ
省略すれば皆ル(留)守と成る

La 〔冠詞〕 既定事物を表はす名詞の前に用ふる語
「ラ」と言へば既定事物を表示する
名詞の前に用ゆる冠詞ぞLabirint-o (一) 迷宮，(二)〔解〕 内耳
こわごわに窺ひ見れば其処此処ら(等)
ビリット(びりゅうと)怪しき音する迷宮

Labor-i 働く，勤む

小息子も親の命令よく守り
穴ぐらボーリ(倉掘り)に夜も働く

Lac-a 疲れたる，倦みたる

疲れたる身を運びつゝ働いて
帰れば嬢留守はらーツツア(腹立つ)なり

Lacert-o 〔動〕 蜥蜴トカゲ

石を以て尾をちぎらツツェルト(らせると)
直ぐ切れて，又生ゑるなり蜥蜴の尻尾

Lač-o 紐，打紐，組紐

外出の時にラーチチ(塔良ふ)と平素から
羽織に紐を着けておくなり

Lad-o (一) ブリキ, (二) 薄板(主に金属の)
くらード(倉戸)をば鼠がかぢる用心に
ブリキの板を張り詰めておく

Laf-o 熔岩, ラバ
桜島爆発なして熔岩の
降ラバ(らば)ゑらーフ^ヲ(らい火^{*})柱の立つ

Lag-o 湖
いぶかしや葦の湖中に海魚なる
「はららーゴ」に似た魚が住むとは

Lagun-o 入江(小島多き)
小島多き入江に汽船を無事入れて
船主の心は柔らグーノ(らぐの)だ

Laik-o 俗人, [宗] 門外漢
宗教家が貴らイーコ(らい子)の無い衆生をば
俗人, 門外漢と謂つてゐる

Lak-o 漆^シ
山林の木^{*}樵^ヨの業に働らーコ(らかう)と
すれば漆にまけて往生

Lake-o 徒僕, 家来
かはらケーオ(土器を)割つた割らぬと徒僕が
下婢の噂をひそびそとする

Laks-o [医] 下痢
腹の中がらがら がら^クソ(糞)しぶる
下痢の病の甚^イぞ苦しき

Lakt-o 乳汁, 牛乳
乳牛の乳汁多く搾らんと
餅米喰はせば樂らークト(樂と)出る

Laktuk-o [植] 萩^{ヂヤ}
萩^{ヂヤ}(智者)勇者の戦術成りて敵墨は
遂に陥ら^クトゥーコ(落投降)なしたり

Lam-a 跛^{ビコ}の
山道を杖つきながらビヨコビヨコと
跛のらーマ(ラマ)僧が登り行くかな

Lama-o ラマ僧
ラマ僧が蒙古の原野に廟建てゝ
大きならマーオ(仚を)ぶらさげて居る

Lamen-o 薄板, 薄片
大はらメーノ(大原女の)頭にのせた箱軽し
薄板, 薄片もちて造れば

Lament-i 勵哭す, 愁嘆す
諦らメーティ(らめん亭)主に愁嘆する妻が
妻の手紙に又勵哭する

Lamp-o ランプ, 燈
ランプをばエスペラントは「ラムポ」と
称呼するなり名詞に尾をつけ

Lampir-o [昆] 蟹属, 土蟹
らムピーロ(ランプ入る)明き燈^{ア火}に夜中飛ぶ
蛍の光薄くなりぬる

Lan-o 柔毛(主に羊の)
羊らーノ(等の)柔毛刈りて暖かき
肌さわり良き織物となす

Lanc-o 槍
竹槍をたづさへ自警団員が
自ら騒ら^クツ(乱争)闘をする

Land-o 国土
神の坐す清き国土も戦ひの
治まらぬ間はらンド(乱土)なりけり

Lang-o 舌
鬼も魔も舌より出づる者なれば
暴言ら^クゴ(乱語)を人は慎め

Lantern-o 提灯，カンテラ，燈
 カンテラや提灯の火は何処までも
 燃ら(爛)テルノ(照るの)電燈に及ばず

Lanugo 幼毛^{ウタガ}，綿毛，柔毛，薄髭
 幼毛をば剃ると一生不運なりと
 約^{アコ}らヌーゴ(らぬ誤)解をしてる迷信

Lapis-o 〔鉱〕碧玉
 帯^{ハタ}の飾りにしたる碧玉を
 ハイカラ女が比^ヒらピーソ(らべ初)めたる

Lard-o 獣脂(主に豚の)
 マンデーカ獣脂を以て色々の
 膏薬造^{ラッ}ド(らる何)処も彼処も

Larg-a 広き
 慾望に吾は駆ら^ルヂヤ(らるぢや)無けれども
 少しは広き邸宅が欲し

Larik-o 〔植〕落葉松^{マツ}
 落葉松も冬の寒さに當てられて、さつぱり
 からリーコ(空^{マダラ}りんこ)と葉が散る

Laring-o 〔解〕喉頭
 走りつつ食たら^リンゴ(ら林檎)が喉頭に
 詰りてしばし途に倒れぬ

Larm-o 涙
 心から涙しほら^ム(らるも)のぞかし
 震災跡の惨状ながめて

Larv-o 〔昆〕幼虫，仔虫
 密蜂が幼虫または密蜂を
 取ら^ルヴォ(らる防)禦に人を刺すなり

Las-i (一)差し置く，放す，遣す，(二)任す，許す
 (三)去る，離る(己の後に遣す)
 去る者は追はず自然に任すとて
 何も言はずに差し置くらース(らしい)

Last-a 最後の，最近の
 最近の彼の不礼を捨ておけば
 最後の吾のつらヌタ(面すた)るなり

Lat-o 板，割板
 板の屏^{スクリーン}越して割板盗む奴を
 こらート(ら^ト)怒鳴れば驚き逃げ行く

Later-o 〔幾〕辺
 天津そらテ一口(空照ろ)が曇ろうが
 かまはない，我家の辺はいつも天国

Latun-o 真鍮，黄銅
 からト^{ーノ}(唐戸の)中に納めた真鍮の
 突台取り出し祝宴を張る

Laū 〔前〕によれば，によりて，に従つて
 事によれば三五^{ミツゴ}教をこぼちたる
 邪神はら^ル(牢)に這入る代^シ物^モ

Laüb-o 小亭(這はせたる)，四阿^{アマ}
 蔦，葡萄，藤など這ふた小亭を
 煙の細いら^ラボ(羅宇房)と曰ふ

Laūd-i 賞讃す，誉む
 藤かづらからみ附いたる風流な
 ら^ッディ(羅宇亭)を客が賞讃すなり

Laür-o 〔植〕月桂樹
 芳ばしく四辺に匂ふ月桂樹
 かほりの下に児ら^ル口(等うろ)つく

Laūreat-o 月桂冠を得た者
 ら^ルレアート(老齢後^ア)の光と月桂冠を得た
 者の精神は純良なりけり

Laūt-a 声高き，大声の
 声高き唱歌を児童ら^ッタ(等歌)ひとつ
 汽車の遠足旅行するなり

Lav-i 洗ふ, 洗濯す

石鹼や洗い粉もちて顔洗ふ
彼の女は誰にらーグィ(恋ヲビ)初めしそ

Lavang-o 雪崩^{ナダレ}

貞操も雪崩の如く碎け行く
寝屋淋しさのらヴアンゴ(恋ヲア後ヲ)家かな

Lavend-o 〔植〕ラワンデル(唇形科)

唇形科植物属のラワンデルを
「らヴェンド」とエス語にて曰ふ

Lazur-a 空色の, 瑠璃色の

諸星^{モチ}ラズーラ(等ぞら)り並んできらきらと
光る空色の美はしきかな

Lecion-o 課業, 教課, 講義

文官の試験に及第せんものと
いれツィオーノ(焦^ヲち男の)子の課業勉強

Led-o 鞄皮^{カギワ}

れード(零度)以下寒き西比利亜旅行には
鞄皮の靴ぞ貴重なりけり

Leg-i 読む

「礼^ヲ記^ヲ」読む儒者はれーキ(礼儀)を知るものと
思ふに反し不作法ものあり

Legat-o ローマ法皇使節

ローマ法皇使節來りて即ち是れガート
(が尊)とい物だと宝玉見せたり

Legend-o 昔嘶, 伝説

伝説や昔嘶は面白し
さはあれゲンド(れ限度)を守りてぞ読み

Legi-o (一)古羅馬の軍隊, (二)軍隊, 軍勢

古の羅馬の国の軍隊は
晴れギーオ(れ着を)着^フけて戦陣に臨む

Legitim-i 正当(適法)とみとむ

れギティーミ(礼儀地位美)なる行動は正当の
人の行ひ適法と認むる

Legom-o 野菜

野菜をば副食物に用ふれば
その身の疲れゴー王(れ毫^ヲも)感ぜず

Leg-o 法律, 法則

れーチ^ヲ(令状)を持たず家宅の搜索を
なさんとするは法律違反

Lek-i 淹める

水晶の真偽鑑定はれーキ(冷氣)の有無
湛める舌にてよく判るなり

Lekant-o 〔植〕大延命菊^{アガト}

匂ひ良き大延命菊の生産は
是れカント(れ関東)の野に生うるなり

Lekci-o 講義

うれツィオーナ(売れ口を)探し求めて平凡学者
講義料にて生活するなり

Leksikon-o 辞典

れクスイコーン(歴史考の)辞典買はんと尋ぬ
れば、人名辞典を教へられたり

Lens-o 〔光〕レンズ

細^クし女^ののレンズに向ふ姿見て
昔の彼の女をれンソ(聯想)して居る

Lent-o 〔植〕扁豆

扁豆の様に頭部が張れント(れんと)し
診察すれば扁豆(扁桃)腺炎

Lentug-o 雀斑^{ノカ}, 疣^{アザ}

雀斑や疣の醜容免れントー(免れんと)
ゴ(五)岳の阿蘇に妙薬探る

Leon-o 〔動〕獅子
れオーノ(ライオンの)猛るが如く瑞月が
人類愛の獅子吼するかな

Leontod-o 〔植〕蒲公英タニウツギ
春の野に匂ふ蒲公英星すみれ(董)
オントード(温土道)路の両側に咲く

Leopard-o 〔動〕豹
もろこしの野に住む猛獸豹の名を
「れオパルド」とエス語にて呼ぶ

Lepor-o 〔動〕兔, 野兎
野兎が猶狗に追はれボーロ(れポーロ)ボロと
糞放りながら山を逃げ行く

Lepr-o 〔医〕癩病
癩病のために棄てられーロ(れ浮浪)して
四国西国巡礼をする

Lern-i 学ぶ
学校に学ぶ小児の柔順さ
れルニ(レールに)汽車の走る様なり

Lert-a 上手なる, 巧なる
よく売れタク(れる沢ダラ)山サン売れる上手なる
細工は羽が生えて飛ぶなり

Lesiv-o 灰汁アシキ
木炭を搾りて出でし灰汁こそは
洗濯に良きれスィーヴアシキ(泥アシ水ミズ泡ハバ)なり

Letargi-o 〔医〕仮死, 昏睡
倒れタルギーオ(れたる義意を)称して仮死
と言ふ, 人事不省昏睡状態

Leter-o 手紙
草枕旅の安否を報ハシメさんと
我家の妻にれテーロ(手紙)出す夫

Leutenant-o 陸軍中尉, 海軍大尉
陸軍中尉, 海軍大尉はエス語にて
「れーテナント」と共に曰ふなり

Lev-i (一) 高む, (二) 起す
心性のれーヴィ(麗美)な人は品ヒサシ高む
慈善事業を頻りに起す

Levkoj-o 〔植〕紫羅欄アキト
嵯峨の奥禅寺オツジの支れハラフ(寮)コーキ(紅葉)して
紫羅欄の花は散り行く

Li 〔代〕彼, 彼の男
彼は常にり(利)のみに走る人なれば
人情などは容易に解せず

Lian-o 葛(藤, 蔦の如き)
藤葛軒にからまりアーノ(りあの)家は
青葉の館と変りて見ゆる

Libel-o 〔昆〕蜻蛉アシナガバチ
低空を左右に巡りベーろ(りベロ)ベロと
羽動かして蜻蛉たつなり

Liber-a (一) 自由なる, (二) 閑散なる
自由なる主義を述べんとて演壇に
登りベーラ(りベラ)ベラ轉づる弁士

Liberal-a 自由主義の, 寛大の
自由主義の, 寛大の所置をする人を
「りベラーラ」くと人そしるなり

Libr-o 書籍, 帳簿
文明の世に連れじと老人が
眼鏡を力にりーロ(書籍)を読む

Lice-o 中学校
現代の中学校はおしなべて
リツューオ(理性を)第一教授するなり

Lien-o 〔解〕脾

脾の弱い人はりエーノ(利営の)職業に
従事することとても出来ない

Lift-o 昇降機, エレベーター

昇降機降りト(りふと)思へば客人が
早待つてゐる三越の五階

Lig-i 結ぶ, 結びつける, 結合す

明白なり一ギ(理義)の下に学生が
集まり結ぶ学術研究会

Lign-o 木材, 薪

薪刈りノ(り具の)鎌や斧では手に合はぬ
木材伐るは鋸の役

Likken-o (一)〔植〕地衣, (二)〔医〕苔癬

地衣茂る庭の面^キ見ればまのあたり(り)
ケーノ(景の)趣き一入ゆかしさ

Likvid-i 〔商〕決算す

商会社収入決算する時は
権りクヴォーディ(利首で)大体定^キめる

Likvor-o リキュール酒

リキュール酒之をばエスペラントにて
「リクヴォーロ」と称呼するなり

Lili-o 〔植〕百合

りりー(輪々を)百の数々組合せ
土に育ちし百合根美味なり

Lim-o 境界, 限界, 限度

境界を定めるよりーモ(りも)限度をば
きめて掛かれば争論はなし

Limak-o 〔動〕なめくじ属

なめくじを暗夜に踏んで足滑り
マーコと(り誠)にほんとに吃驚をした

Limonad-o レモナーデ, ラムネ

レモナーデ, ラムネの類をエス語にて
「リモナード」と称呼するなり

Lin-o 〔植〕亜麻^{アマ}

緩下剤, 健胃剤とは聞きつれど
亞麻りーノ(余りの)苦しさ吐出して見る

Lingv-o 言語, 国語

「リングヴォ」この言靈は言語をば
称呼なしたるエス語なりけり

Lini-o 線, 署, 行(字の), 列, 線路, 〔軍〕横隊

山門に節くれ立つたり氣張つたり(り)
ニーオ(仁王)が額に線を張らして

Link-o 〔動〕大野猫

山猿の様に樹の枝^キにぶり^シコ(りんこ)と
下^シがつて遊ぶ大野猫かな

Lip-o 唇

唇が縊り一ポ(りぼ)んぽん言はぬ人
気品の高く見ゆるものなり

(一)古代の七絃琴, 詩の記号,

Lir-o (二)伊太利の銀貨(約四十錢)
古の七絃琴や伊太利の
四十錢銀貨「リーア」とぞ言ふ

Lirik-a 抒情詩の, 抒情的の

揉情的の歌詩を作つて現代を
謳ふ詩人をリリーカ(理離家)と言ふ

List-o 目録, 表, 名簿

キリスト(基督)の信徒名簿と信条の
目録牧師の便りなりけり

Lit-o 寝床, 寝台

しつぱりート(りと)寝床に身をば横たへて
来たるべき世の有様おもふ

- Litani-o** 〔宗〕連禱，長談議
ひとりタニーオと(一人だに遣^{スル})さず
漏らさず大前に，連禱するなり秋季大祭
- Liter-o** 文字
月日よりテ一口(り照ろう)とばかり思ふかな
思想を明かすは文字の功用
- Literatur-o** 文学
文学を学べば照りテラトーロ(り照ら燈籠)
御^ミ魂^{ミツ}の暗を晴らす光明
- Litograf-o** 石版印刷
リトグラーフ(理透具良法)事実をいとも
鮮明に，世間に示す石版印刷
- Liturgi-o** 〔宗〕礼拝式，祈禱文式，
リトゥギーオ(理徹疏義位王)国祖の神の
大前に，礼拝式を行ふ教徒等
- Liut-o** 〔音〕マンドリンに似たる古楽器
りうりウート(りうと)美はしき音聞こゆなり
マンドリンに似たる古代の楽器
- Litr-o** リットル(容量の単位)
リットルは容量の単位道具壳が
暴り一トロ(利取ろう)とあせる二条通り
- Liver-i** 供給す，支給す
泣く児等に白紙を供給する時は
直ぐベリヴェーリ(リベリ)と破つて了ふ
- Livre-o** 摂ひの服，一定の服(卑などの)，仕着せ
一同の摂ひの服は木綿なれど
余りガレーオ(り無礼を)咎めて呉れな
- Lob-o** 葉，裂片
裂片や枯葉蒐^メめ火をたいて
ろーボ(老母)慰む田舎の孝子

- Lod-o** 半オンス
「ろード」エキス(薬名)半オンス程買つて来い
染物用に必要だから
- Log-i** 誘惑す，誘ふ，気を引く
野良息子うまく誘惑するろーギ(老妓)
金さへ見せりや咽^{クモリ}鳴らすなり
- Logaritm-o** 〔数〕対数
ひろガリ、モ(広がり共)対数法にて計る時は
容易に判明するものと知れ
- Logik-o** 論理学
論理学朝な夕なに勉強して
雄弁会員ロギーコ(論義意考)究す
- Logograf-o** 一種の謎
ロゴグラーフ(老後愚理法)を考へ親爺さん
いつも一種の迷を懸けてる
- Log-i** 住む
貧乏して祖先の家を売り飛ばし
市中に出ててローチ(路次)に住むなり
- Logi-o** 棟敷，舛(劇場の)
劇場の棟敷を前^{フサ}に買っておく
家^ヲのロヂーオ(老爺を)見物さすため
- Lojal-a** 忠義なる
忠義なる誠の人は苦ろヤーら(勞やら)
諸^モの署^シりの來たるものなり
- Lojt-o** 〔魚〕一種の川魚(鱈科)
「ロイト」とは一種の川魚鱈科なり
清き川瀬を上りつ下りつ
- Lok-o** 場所，処，地方
ろーコ(牢固)たる地方に地盤を造らんと
候補者場所を定めてぞ住む

Lokomobil-o 〔機〕ロコモビル(移動蒸氣機関)
汽機汽罐一つになして造りたる
蒸氣機関を「ロコモビーロ」と言ふ

Lokomotiv-o 機関車
ロコモティーヴ*(老侯も地方)巡遊せんとして
機関車に乗り旅行せらるる

Lol-o 〔植〕ロリウム, むぎなでしこ
ロリウムはむぎ撫子の英称なり
ろーろ(浪々)の身の人に似し哉

Long-a 長き
小田原の評定会に下らない
長きろンガ(論が)果し無き哉

Lonicer-o 〔植〕忍冬スカラ
忍冬葉はいろいろニツューロ(ろに散らう)とも
幹にからみて春を待つなり

Lord-o 卿(英國貴族)
卿と言ひ英國貴族と言ひ乍ら
何時もぼろドろル(ろ泥)棒根性

Lorn-o 望遠鏡
望遠鏡かけて海上見渡せば
とろルノ(トロールの)船沖に浮べる

Lot-i 抽籤す, 抽籤により分配す
支那地方ろーティ(露地)方へ行商の
抽籤すなり行商會社員

Loteri-o 富籤, 無尽
或る家のひろテリーオ(広ろ庭裏を)開放し
富籤会の開催をする

Lozangô-o 菱形
菱形に切られた男の顔のいろ(色)
ザンヂ(惨状)見るに忍びざるなり

Lu-i 貸借りす
親るーイ(類)の建物貸借りする時は
他と一割の安価とぞなる

Lucern-o 吊燈ソラブ, 吊燈明
へるツェルノ(減る費へるの)と何を言ふんだ
吊燈明, 油がいるのは当然だよ

Lud-i 遊ぶ, 弄ぶ, 演ず, 奏す
音曲を奏す劇をばよく演ず
祭があるーディ(るで)子供と遊ぶ

Luks-o 賢沢
賢沢を尽した奴の放ヒルゾ(る糞)は
臭氣も強く黃金色なり

Lukt-i 相撲を取る
大闖がゆるヒティ(緩く手)を取り我弟子に
上手に相撲を取る事教ゆる

Lul-i 摆りて寝つかす
ぐるーり(周囲)から泣く児を抱え子守等が
守り歌うたひ揆りて寝つかす

Lum-i 光る
包みてし暗晴れ渡り明るーミ(るみ)へ
現はれ光る三ツ五ツの教

Lumb-o 〔医〕腰, 腰部
腰折れるムボ(る無謀)の計画行やり過ぎて
再び世に立つ術も無きかな

Lumbrik-o 蚯蚓ミズ
泥池にるムブリーコ(どんぶりこ)と飛び込んで
餌とつかめば蚯蚓の長虫

Lun-o 月
夜ヨるーノ(るの)月早や西山に傾きて
冬草の上に霜降り来たる

Lunatik-a 気の変り易き，時々乱心する
平素気の変り易きを侮るナ(るな)
ティーカ(地位下)のものも神のまにまに

Lund-o 月曜日
今度來るノド(る運動)会は月曜日
活動なして賞品を得ん

Lup-o 〔動〕狼
狼の吠ゆる一ポ(る方)角を指差して
がたがた慄ふ臆病連中

Lupol-o 〔植〕蛇麻草カハツ，ホツプス
降り来たるポーろ(るポーロ)ポーロと前の道
蛇麻草の露に濡れつつ
(台又は天井より吊るもの，数条)
Lustr-o 装飾燈架(に分岐して種々の装飾を有す)
「るストロ」この言^ト靈^{タマ}はエス語にて
装飾燈架の称呼なりけり

Lut-i 臆着ツツす，接合す
臆着す，接合するをエス語にて
るーティ(流涕)すると意義を現はす

Lutr-o 水獺カウ
水獺が棚池に来る一口(る取らう)かと
棍棒持つて立番をする

M

Mac-o 一種の麵麌(酵母を用ひざる)
空腹を抱えて一種のパンの来る
時をマーツ(待とう)と罹災者が曰ふ

Maâ-i 噛む，咀嚼す
暗闇で尻尾を踏まれマーチ(まち)がつて
主人と知らず足を噛む犬

Madon-o 聖母マリヤの像
善道の聖母マリヤの像を見て
マドーノ(魔道の)と曰ふエス語可笑しき

Magazen-o 商品置場，商店
納め置くマガゼー^ノ(間が税納)の損失と
主人が悔む商品置場

Magi-o 奇術，魔法
奇術師が魔法使の様な風^ヲ姿^ヲ
なしてお客様をマギー^オ(求^マぎを)るかな

Magnet-o 〔理〕磁石，磁器体
磁石こそ何時も方向マ^クネート(狂げ無いと)
航海業者に重宝がられる

Magnetism-o (→) 磁力，磁氣，(←) 磁氣学
磁力また磁氣学之をエス語にて
「マ^クネティ^{スモ}」と称呼せらるゝ

Mahagon-o 〔植〕桃花心木，マホガニー
マハゴーノ(真秀郷の)里のほこりは春の野に
咲き匂ふなる桃花心木

Maiz-o 〔植〕玉蜀黍トモシ
腸荒れて我身は下痢に悩みけり
余計喰ふマイーズ(まいぞ)玉蜀黍を

Maj-o 五月
旧五月新の五月が雛祭り
どれが良いかとマーヨ(迷)ふ現代

Majest-a 威風堂々たる，尊嚴なる
尊嚴なる神人威風堂々たる
貴人のマイエスタ(前ヘ^ヌタ)スタと逃げる

Majolik-o マヨリカ陶器
陶器品マヨリカの店に老若が，買ひ求めむといマヨリーコ(今選^ヨリ子)してゐる

Major-o 〔軍〕少佐（陸軍）
陸軍の計画さまざマヨーロ（様要路）より
直接命令少佐は受けてる

Majstr-o (母)親方、棟梁、(父)大家、先生
棟梁や親方、大家、先生を
マイストロ（邁主頭老）とエス語にて呼ぶ

Makadam-o 割栗石、碎石舗道
割栗石や碎石舗道を辿り行く
さマカダーモ（様身体も）楽になりけり

Makaron-o 糖杏菓、（杏仁、蛋白、砂糖等にて作る）
マカローノ（負からうの）負からないと
何を言ふ、杏仁、蛋白、砂糖で作る糖杏菓

Makaroni-o マカロニ、管麵
マカロニの管麵料理して喰へば、うマカロニー
(甘からうに)オレ(俺)も喰ひたい

Makler-i 〔商〕仲買す
堂島で仲買する人損をして
ヤケ糞になり尻をマッれーリ（まくれり）

Maksim-o 格言、箴言、金言
言葉うマッスイモ（甘く酸いも）甘いも
かみわけた、聖者の造つた格言、金言

Maksimum-o 最大限
最大限の世界に遊びぬ夏の夜を
うマッスイムーモ（甘く酔夢も）覚め心地よき

Makul-o 斑点、汚点
マクーろ（真黒）の斑点、汚点顔にある
赤児を産んだ親の心配

Makzel-o 〔解〕頸骨、上頸骨
頸骨を前後左右に動搖し
管マッ（巻く）ゼーろ（贅口）ク上方に居る

Mal- 〔接頭〕反対を示す
反対を示す接頭語をマる(○)と言ふ
○○ル○ルは反対の文字

Malakit-o 〔鉱〕孔雀石
「マラキート」は光りの強き孔雀石
真良貴位イとこそ人の賞むるも

Malari-o 〔医〕マラリヤ熱
マラリヤ熱之をエス語は「マラリーオ」と
改称すれば「ヤ」と「オ」の相違だ

Maleol-o 〔解〕踝クルシ
踝を踏マレオーロ（まれ往路）に打ち倒れ
顔をしかめて苦シ伏フ（踝）して居る

Malgraū 〔前〕にも拘らず、の甲斐なく
彼れ程の聖者にも拘らず世の人を
誤マルグラ（まる愚弄）するぞ不審シ

Malic-o 悪意、意地悪
悪意以て決して意地悪なしほせぬ
つマリーツ（つまり強）きは脣我慢のみ

Malt-o 麦芽モシ、麦麹カヂ
表芽、麦麹を豆に混ぜ合せ
桶につマルト（まると）上味噌になる

Malv-o 〔植〕錦葵ゼアヒ
錦葵日車の如くクルクルと
マズヴ（丸坊）なる花苔あり

Mam-o 〔解〕乳房
母親の乳房が腫れて痛み出し
児を養はんさマーモ（様も）無きかな

Mamut-o マンモス（古生動物）
古生動物マンモスの名をマムート（万無と）
否定するなり近眼学者は

Man-o 手

マーノ(魔の)手に捕へられたる人の耳は
誠の道を聞く事を得ず

Mana-o (一)[薬]満那(緩下剤), (二)天糧(太古
イスラエル人が荒野旅行中に得たりといふ糧)
緩下剤満那をばエス語「マナーオ」と
各国人にマナ「満那」(学)ばして居る

Mandaren-o 支那の官吏

マンダレーノ(未だ例の)收賄斗りをやつてゐる
呆れたものだよ支那の官吏は

Mandat-o (一)委任状, (二)為替手形

委託書, 為替券,
委任状, 為替手形の請渡し
マンダート(未だ取)らぬと催促をする

Mandolin-o [音]マンドリン

マンドリン楽器は英語の呼び声ぞ
「マンドリーノ」はエス語なりけり

Mangan-o [化]満俺

満俺の鉱脈探し求めんと
思へどマガーノ(運が無)うて困りぬ

Manĝ-i 食ふ

上棟式祝ひで小供あつまりて
投げるマンヂ(饅頭)拾うて食ふ哉

Mani-o 狂, 热中, 狂癖

狂人の如く熱中する時は
凡てマニーオ(間に合ふ)ものとなるなり

Manier-o (一)仕方, 仕様, 方法, 手段

(二)風, 様子, 状態
知らぬマニ(間に)エ一口(偉ふ)様子が変つて
どんな仕方でどんな風にて

Manifest-o 令, 布令, 告示, 宣言書, 櫻(政党などの)

令または告示をエスペラントにて
「マニフェスト」(満任兵首途)と称呼するなり

Manifestaci-o 宣言, 発表

下手なこと宣言, 発表した為に, 知らぬ
マニフェタツィーオ(間に減した地位を)名望を

Manik-o 袖

知らぬマニー(間に)コロも(衣)の袖は破れけり
茨の茂る山路行く間に

Manipul-i 手で操作す, 取扱ふ

しらぬマニブーリ(間にぶり)んと投げる
角力上手, 猫か犬かのやうに取扱ふ

Mank-i 無し, 不足す, 欠乏す

返金のマキ(満期)は来るし金は無し
其上米も不足す着物も不足す

Manometr-o 圧力計

恐ろしきマノメートロ(魔の目取らう)の勢ひよ
圧力計の無限の力は

Manovr-i [軍]演習す

陸軍の兵士の演習する見れば
マノーヴリ(魔能振り)をば十分發揮す

Mansard-o 屋根裏の部屋

屋根裏の部屋に寝てゐるスキーマン(人)
サルド(猿戸)すかして友の技を見る

Mantel-o マント, 外衣

上表に被かるマントの便利よさ
暫しマントー(待つてろ)買つて来てやろ

Manufaktur-o 製造所, 工場

製造所, 工場の監督嫌はれても, 言はねば
すマヌファクトゥーロ(済ぬ白頭老)かな

Manuskript-o 草稿, 原稿, 書き物

草稿や原稿書くマヌスクリ(間盜苦力)
ヲト(ふと)気がつけばいねむつて居た

Mar-o 海

海の上乗り行く上に怪多し
客は恐れてマーロ(魔路)とぞ言ふ

Marasm-o 〔医〕羸瘦, 消耗症

羸瘦, 消耗症に犯されて
前途を悲観し鼻約マラヌモ(まらすも)

Marcipan-o 一種の果物入パン菓子

果物の入つたパン菓子エス語にて
「マルツィパー」ノと美々味々く呼ぶなり

Marê-o 沼, 沼沢

夜逃げした人を搜索するため沼の周囲
提灯つけて多勢マルチヨる(まはっちょる)

Marêand-i 値切る

テカテカと頭の光るマルチヤンディ(円爺泥)
市に出ててもよく値切る奴かな

Mard-o 火曜日

火曜日は基督教信者嫌忌して
マルド(魔留道)日と定めてぞ居る

Margarin-o 人造牛酪(脂肪より製す)

マルガリーノ(丸刈の)男が牛の脂肪を以て
人造牛酪製造販売

Marĝen-o (一)欄外, 貞辺ベジ, (二)端ジ, 縁ジ
マルヂューン(丸善の)記事を欄外又端へ
掲載してゐる田舎新聞

Marin-i 酢漬にす

鴨瓜をマリーニ(毬に)かためて円き桶に
酢漬にすれば味ひの良き

Marionet-o 操り人形

玩具店にマリオネート(毬を無いと)断はられ
操り人形求めて帰る

Mark-o (一)印, 記号, 符牒
(二)附札, 貼札(切手, 封緘紙など)
「マルコ」とは記号に印, 附札や
切手封緘紙などの貼札

Markiz-o 侯爵

庭内にマルキーゾ(丸木造)作亭を建て
豊に遊ぶ候侯爵

Markot-i 〔園芸〕圧枝トキス(枝を親木より切り離さ)
圧枝する親木の枝は土の中に
包マルコーティ(まる固地)なして根を出す

Marmelad-o 果糕ジム, (砂糖にて煮詰めたる果肉)
マルメロや梅肉などで造りたる
果糕をマルメラード(まる見えだと)言ふ

Marmor-o 〔鉱〕大理石

大理石大鉱山を見し
工夫主人に大マルモーロ(金マ貨モフ)

Marmot-o 〔動〕山搔鼠ヤキミ, もるもつと
山搔鼠, もるもつとをばエス語にて
マルモート(魔流元)と称呼するなり

Maroken-o モロツコ革

マロケーノ(魔系の)家の宝の長刀は
モロツコ革の鞘を用ゆる

Marš-i 進む, 進軍す, 行進す

過激団天災の際マルシルし(丸シ標ジシ)
合団をなして進む, 進軍す

Maršal-o (一)元帥, (二)式部官

元帥や式部官をばエス語にて
マルシャー(魔流遮路)と称呼して居る

Mart-o 三月

三月がマルト(全體)桃の花咲いて
田舎の軒も人の訪ひ来る

Martel-o (→ 鉄槌, (→ [解] 椎骨
髭虎が終に縮マルテーろ(まる低顱)して
打つた鉄槌泣いて投げ出す

Martir-o (→ [宗] 難行者, (→ 難苦者,
殉教者, 殉難者,
殴ぐられて腕まで染マルテーロ(まる血色)こそ
三ツ五ツ教の殉教者なり

Mas-o (→ [理] 質量, (→ 塊, 堆積
「マーン」とはエス語の質量第二義は
塊などの称で有りマーン(ます)

Masağ-o [医] 按摩, マッサージ
マサード(まさー嬢)肩を凝らして按摩呼び
病気平癒のマッサージ(摩擦)させる

Masiv-a 質量多き, どつしりした,
たつぱりと目方のある
どつしりした, 質量多き靈能者
日にマスィーヴァン(増し万)有愛を説く

Mask-o 仮面
マスコ(ま少こ)し仮面を被ぶつて居るがよい
髭虎邪神がボロを出すまで

Mason-i [建] 石, 煉瓦などを積みて築く
石, 煉瓦などをば積みて築きたる
マソーニ(馬槽に)軍馬嘶いて居る

Mast-o [海] 帆柱, 櫓
帆柱を造りマスト(ますと)彦山へ
祈願こらした豊臣秀吉

Mastik-o (→ 乳香, (→ [工]添喰の一種
添喰の一種, 乳香高価なれば
売る店にてはマヌティーコ(樹小チコウ)する

Mastr-o 主人, 亭主, 親方
御主人も親方さんも草狩で
留守でおマストロ(ますと老)僕が言ふ

Maś-o 網の結目, 網目
大鯉がかゝれば網の結目が
破れマーショ(ませう)と僕モ注意す

Maśin-o 機械, 機関
天声社に今度求めた印刷機
前とはマシーノ(なしな)機械なりけり

Mato 蔓, 罂, 薙^{ゴザ}
新らしき蕪や罠入れ代へて
其美々しさにマート(マアト)驚く

Matador-o 屠牛士(闘牛)
マタドーロ(又道路)右にしとれば闘牛と
屠牛場路ぞと屠牛士は行く

Matematik-o 数学
数学は幼い子供では六ヶしい, マテマティーコ
(待て待て小)供年が行くまで

Maten-o 朝
今晚は俄の用で行かれない
明日の朝までしばしマテーノ(待てのう)

Materi-o [理] 物質, 有形物
物質や有形物が望みなら
しばらくはマテリーオ(待て利を)与へる

Material-o 材料, 原料
材料や原料品が安く来る, それまでは
マテリアーろ(待て利あらう)から

Matrac-o 臥褥, 敷蒲団, 藻蒲団
敷蒲団, 臥褥の上にマトラツ(まどろむと)
旅した山野の苦しさおもふ

Matur-a 成熟せる, 成人せる
マトゥーラ(魔道等)に迷はず成人せる人は
よく成熟せる人格を持つ

Maūzole-o 灵廟

靈廟に詣でし其夜に見たりけり
さも恐ろしきマッシュレーオ(亡像靈を)

Mazurk-o 一種の舞踏(波蘭の)

愛する児かマズルコ(まさる児)かは知らねども
一種の舞踏に優しき乙女

Mebl-o 家具, 備品, 什器

家具備品一切揃ふた温泉屋
世人賞してメーラー(名風呂)と言ふ

Meč-o 燈心(ランプ, 蟻燭などの)

瑞月のメーチ(名著)はランプ, 蟻燭や
燈心よりも暗夜を照らす

Medal-o メダル, 賞牌, 紀念牌

メダルをばぶらぶら下げて世に覇張る
是も此世の変りメーラー(目だらう)

Medalion-o (-)像牌, 写真入メダル

(-)円形浮彫
メダリオーノ(名達理王の)像牌, 写真入メダル
喜び敬ふ印度の土人

Medi-o 環象, 囲繞界

メディオ(眼尻を)下げて美人の跡見つつ
環象, 囲繞界に氣を揉む

Medicin-o 医学, 医術

医者メ(奴)ディツィーノ(実地の)病つかまずに
医学博士とよくもシヤレたり

Medikament-o 医薬, 薬剤

医者との呉れた薬剤利きもせず
だメディカメント(駄目で仮面と)患者つぶやく

Medit-i 沈思す, 瞠想す, 思案す

藍胎の机は久留メ(米)ディーテイ(実地の)
机にもたれて沈思するかな

Medium-o 神通者, 降靈者

メディウーモ(眼で言ふも)口で見るのも
耳で食ふも, 降靈者, 神通者なるが故なり

Medol-o 髓, 骨髓, 木髓

骨髓に徹する斗り腹が立つ
木髓(気隨)者奴がメドーロ(目通り)叶はぬ

Meduz-o [動] 水母

月の夜に海に浮べる水母見れば
蓮の花咲くメドゥゾ(冥途ぞ)偲ばる

Mehanik-o 機械学

機械学研究したる弟メカ(奴か)
ニーコ(兄^子公^子)は馬鹿と罵つて居る

Mejl-o 哩

五哩のマラソン競走に勝つて来た
選手のメリ(眼色)血走つて居る

Mel-o あなぐま, 豺

狩人を早く止メーラー(めろ)あなぐまや
豺を捕れば末代崇る

Melankoli-o 憂愁, 憂鬱症

憂愁が重なり憂鬱症の人に
暑熱にメラノコリー(滅らむ水)を与ふる

Melas-o [化] 糖蜜

悩みる乾癬病を湿メラーソ(めらさう)と
糖蜜着けて苦痛免がる

Meleagr-o 七面鳥

顔色の刻々變る七面鳥
「メレアーグロ」とエス語にて呼ぶ

Melis-o [植] メリサ

植物のメリサをエス語「メリーン」と
称呼するなり「ソ」と「サ」(些)の相違

Melk-i 乳を搾る
何時迄も飲メキ(める気)持か幼稚園児
寝ながら母の乳を搾るなり

Melodi-o 〔音〕旋律, 曲調
「メロディーオ」この言葉は音楽の
旋律, 曲調のエス語なりけり

Melodram-o 〔劇〕準歌劇
準歌劇メロドラーモ(女郎童等も)集つて
歌ひつ舞ひつ俳優をする

Melon-o 〔植〕甜瓜アラ
甜瓜味も佳きければ形も良い
メローノ(女郎の)瓜を割つた様なる

Mem 〔副〕自ら, 自身に
白メム(目む)き自身に仇する曲者に
対して自ら腹が立ち来る
(一)解肢, (二)部, 部分, (三)(工)構材, 部材
Membr-o 四員(会員, 社員, 議員, 等), 四方程式の辺
四肢の一部分と員と会社員
議員などをメムブロ(免プロ)と曰ふ

Membran-o 〔解〕膜, 皮
腺膜が破れ出血繁ければ
メムラーノ(綿布等の)繃帶をする

Memor-i 記憶す, 紀念す, 覚えてゐる,
去年の夏夕立がしてあメモーリ(雨漏り)
困つた事を今も記憶す

Menci-i 言及す, 名指す
誰人と名指すは否なりメンツィーイ(面地位)に
関すと言及すなる聖人

Mend-i 注文す, 予約を申込む
木メンディ(綿地)河内の國の野遠邑で
飛切上等の品を注文す

Mens-o 心靈, 精神
犯罪者の心靈, 精神鑑定の
結果はたちまちメンソ(免訴)となりたり

Mensog-i 嘘言す, うそをつく
嘘言する人はメンソーギ(面相欺)詐々々と
落着きの無い姿するかな

Ment-o 〔植〕薄荷
口中の臭氣を払ひ清メント(めんと)
薄荷の入りし煙草飲むかな

Menton-o 頤ノ
メントーノ(面倒の)起らぬ様に注意して
軽率的に頤を振るなよ

Mentor-o 師伝, 指導者
メントーロ(雌捕らう)か雄をとらうか鶏を
師伝, 指導者の意見に任さう

Menu-o 献立, メヌ
献立の馳走と酒に酔ひ潰れ
未だ眼が醒メヌーイ(めぬ男)の子ありけり

Meridian-o 子午線
太陽は子午線上に皎々と臨メリディアーノ
(めり大亞)の, 空に夜半の星はかゞやく

Merit-i 値す, 当る, ……の資格あり
大臣に値す程の資格あり
心魂澄メリーティ(めり智)勇備はり

Meriz-o 〔植〕野生桜の一種
「メリーズ」は野生桜の一種なり
花染しメリーズ(めり雑)兵たちが

Merkat-o 市場, 取引
止メルカート(めるかと)思へば又も取引を
市場に通うてやつて居るらし

Merkred-o 水曜日

震災の跡を治メルクレード(める苦^ク泥^リ土^ド)を
除き清むる水曜日の空

Merl-o 〔鳥〕つぐみの類

冬深みつぐみの類が悲しげに
鳴く声聞けばメル^スロ(弱^イる老)人

Merlang-o 鮎の一種

「メルラ^ンゴ」は鮎の一種よ阿房だら(鮎)
棒鮎も又仲間なるらむ

Mes-o 〔宗〕供養, 弥撒^{ミサ}

弥撒, 供養行はんとて大寺に
メソ(名僧)数多集り來たる

Mesi-o 〔宗〕救世主

惟神神のおメスイー^オ(召しを)蒙りし
人を導く天晴れ救世主

Mespil-o 〔植〕山楂^{ザザ}

山楂の梢に薦^{シテ}のメスピーロ(雌^ミ英^ヒ雄^ロ)
ピーヒヨロヒヨロと今日も啼き居り

Met-i 置く

メーティ(明智)の大将明智光秀が
城趾に瑞祥会を置くかな

Metafizik-o 〔哲〕形而上学, 純正哲学

形而上学は所謂神靈学
研究極メタフィズイー^コ(めた秘事考)なり

Metafor-o 〔修〕隠喻, 暗比法

隠喻をば使ふ坊主の奥の手は
メタフォーロ(滅多放浪)の悪手段かな

Metal-o 〔化〕金属

金属商始メターロ(めたらう)か此の頃は
隣の家に箔打ちの音

Metamorfoz-o 〔動〕変化, 変態(昆虫や両棲類の)

昆虫や両棲類等の変態を
「メタモルフォーズ」とエス語にて呼ぶ

Metempsikoz-o 靈魂転移, 輪廻^{リキ}*

輪廻説聴くより吾銳メテム^ススイコーズ
(目転伏しい, 高僧)に習ひて靈魂転移す

Meteor-o 気象

今少しせメテオーロ(めて往路)の乾くまで
日和が欲しい気象台は如何に

Meteorologi-o 気象学

気象学究メテオロギー^オ(めて驚きを)
感じたりけり二百十日を

Meti-o 手職, 手工

手職人手工と喧嘩おつ始め,
メティ^オ(眼血)を出して睨み合ふかな

Metod-o 方法, 方式, 手順

方法や手順の限り竭せども
とても解決メトード(目当ぞ)着かない

Metr-o メートル

我こそは暗世を救ふメートロ(明燈籠)と
きつくメートル揚げる彪虎

Metrik-o 詩形学

詩形学者娘をメトリー^コ(娶り児)を生めば
詩歌の好きな坊やなりけり

Metronom-o 〔音〕拍節機

メトロノーモ^ラ(娶らうの貢)をうのと騒ぎ居り
拍節機使用上手の音樂娘を

Metropol-o 本国, 首都

本国の首都に基教を開かメト(めと)
ロポーロ(老ボーロ)神使雄叫び進む

Mev-o 〔鳥〕 鶲カメ
 メーヴオ(眼疣)が俄に起り眼の形
 鶲の如くなりにけるかな

Mez-o 中央, 正中, 中間, 中等
 中央に斎き祭りしメージ(名像)は
 弘法大師の彫刻觀音

Mezur-i 量る, 計る, 測量す
 あメズーリ(雨落)土砂は線路を埋めけり
 技師は損害程度を計る

Mi 〔代〕 私, 我
 我身とか私の身とか利己主義に
 濡れし人のミ(身)こそうたてき

Miasm-o 悪氣, 邪氣, 伝染毒, 瘴癟
 病がミアスモ(神明日も)昨日も毒悪氣
 伝染毒を世に散布する

Miaū-i 鳴く(猫に言ふ)
 天井のねづミアーアイ(みだい)に声潜む
 猫の鳴く声耳に入りてゆ

Miel-o 蜜, 蜂蜜
 蜂蜜の蜜の効能病人に
 施してより直ぐにミエーろ(見える)

Mien-o 顔色, 容貌, 面持
 外ミエーノ(見えの)良くなるやうと化粧
 すりや, 容貌, 顔色以前に変る

Migdal-o (一)〔植〕巴且杏ハジキウ(果), (二)杏仁
 巴且杏作る畠に注意せよ
 凸坊どもがミッダーロ(果食ふだーろ)から

Migr-i (一)遍歴す, 国々を漂らぶ,
 (二)遠方へ移住す, 渡る(鳥など)
 魂マヒとミーガリ(身俱マツコ)に世界を遍歴す
 神示の儘に遠方へ移住す

Mikrob-o 微生物, 細菌
 果物の腐敗なせしミクローボ(実喰ふ坊)の
 顔色いつも土の如青き

Mikrofon-o 微音拡大器(マイクロホン)
 微音拡大器マイクロホンをエス語には
 「ミクロフォーノ」とのんきに称ふる

Mikrometr-o 測微器
 測微器を「ミクロメートロ」とエス語ふ
 微細な秘密を曝露さす奴

Mikroskop-o 顯微鏡
 ミクロスコープ(身黒素マヌカ頭カブポン)とたゞいた
 跡の疵, 余り小さく顯微鏡かける

Miks-i (一)雜マツす, 混合す, (二)混同す, 取違へる
 混合す, 雜ず言マツシガはミクス(身苦心)と
 エスペラントは称呼するなり

Mil 〔数〕 千
 千年の未来をミル(見る)の明あらば
 伊都の御ミツタニ魂ミツタニに等しかるべし

Mild-a 温和な, 柔和な
 ミルダ(見るだけ)で温ミル和ミルな, 柔和な娘ぞと
 親は仲の嫁に欲しがる

Milli-o 〔植〕 稷ミリ, 穂
 穂, 穂のミリーオ(実入りを)多くせんものと
 田吾作畠を耕してゐる

Miliard-o 十億
 十億のミリアード(収入有る土)地を譲れ
 よと, 露西亜に権太問題を出す

Miligram-o ミリグラム(庭)
 ミリグラムエス語に是をミリグラモと
 称へてやゝこしく吾は氣をもむ

Milimetr-o ミリメートル(耗)
 ミリメートルをエスペラントは改称し
 「ミリメートロ」と言つて用ふる

Milion-o 百万
 ミリオーノ(味利王の)慾の深さよ百万の
 金持ちながら猶も欲しがる

Milit-i 戦争す
 ミリーティ(実入地)鉄道権利を握らんと
 国と国とが大戦争する

Milv-o 鶯
 鶯の舞ふ久方の空をよくミルヴ(見る茫)
 々然として雲は閉ざせり

Mimik-o 身振り, 手真似
 ミミーコ(耳擦)すり手真似, 身振りで古への
 人は互に意志を通ずる

Mimoz-o 〔植〕合欅木^{カキ}
 友の家ミモーゾ(見舞ふぞ)と行けば庭の面に
 やさしく匂ふ合欅木の花

Min-o (一)鉱坑, (二)火坑, 雷坑, 水雷(敷設の)
 鉱坑に日夜活動する時は
 何れもミーノ(身の)健康を害す

Minac-i 脅かす, 脅迫す, 威嚇す
 来る敵にミナーツ(皆血)を見せて脅かす
 日清戦争の時の我軍

Minaret-o 招塔(回々教寺院の尖塔)
 回々教寺院の招塔空高く
 市中の人はミナレート(見慣れと)るなり

Mineral-o 〔鉱〕鉱物
 鉱物の火口求めて山の尾や
 ミネラーロ(蜂^{ミツ}裏^{アヒ}六)人探し居る哉

Minerologi-o 鉱物学
 鉱物学者深山に入りてミネラロギー^オ
 (峰等老樹を)別けくぢりつゝ鉱石調ぶる
 微細の(頸飾など)
 Miniatur-o (一)画像(に附する), (二)縮図
 微細なる画像や縮図の名称を
 「ミニアトーロ」とエス語曰ふなり

Minimum-o 最少限
 人の慾最少限になる時は
 ミニムーモ(身に無も)なし塵埃もなし

Ministr-o 大臣, 公使
 微賤より大臣, 公使になる人は
 ミニストロ(身に数等勞)苦あるなり

Minut-o 分(時間及び度の)
 矢の如く時間は分時と進み行く
 気の急く人は時計ミヌート(見ぬと)よし

Miogal-o 〔動〕麝香鼠
 ミオガーロ(身を軽ふ)麝香鼠が溝川の
 流れを自由に浮動するかな

Miop-a 〔医〕近視の
 生れつき近視のミオーパ(身をば)持ち乍ら
 どうして未来の状が見えやう

Miozot-o 〔植〕勿忘草^{ワレグサ}
 ミオゾート(身を慄^{ゾ然}と)驚き暗の足元を見れば勿忘草が揺める

Mir-i 驚く, 怪しむ, 呆れる
 ミーリ(魅入り)たる邪鬼の陰謀に驚くな
 怪しむ箇所の数多ありせば

Mirabel-o 黄色の梅
 四五粒の黄色の梅のミラベーロ(実等ベロッ)と
 食ひて子供は酔つぱい顔せず

- Mirakl-o 奇蹟, 靈怪
キリストの奇蹟に就て神国の
たミラーる(民等苦労)を免れんとする
- Mirh-o 没薬ス (樹脂)
箋医者が脈をミル木(見る法)誤ちて
没薬の如く渋い顔する
- Miriad-o (一)一万, (二)無数
皇神の教の道の奥山に, 一万
無数のミリアード(蜜理天道)あり
- Miriametr-o 一万米
一万米の遠距離さえも望遠鏡で, ミリアメートロ
(見りや見えとる)手に取る如くに
- Mirt-o [植] 桃金娘テニク
桃金娘花の姿をよくミルト(見ると)
天国の花仰ぐ様なり
- Mirtel-o [植] うすのき
出でてミルテーロ(見る堤路)の傍にうすのきが
水の流れを見つ暮せる
- Mis- [接頭] 間違ひ, 誤を表はす
間違ひと誤を表はす接頭語の
書物ミス(見す)ればすぐ改める
- Misi-o (一)天職, 大任, 使命, (二)宣教, 伝道
天界の伊豆のミスィーオ(美瑞を)地の上に
宣教するは司の天職
- Mister-o 神秘, 秘法, 玄妙, 不可思議
不可思議と神秘ばかりに焦心し
ミステーロ(身捨てろ)とする迷信家あり
- Mistik-o [宗] 神秘教, 密教
神秘教, 密教などの宗派には
仏前のミスティーコ(簾小^ヂこう)懸れり

- Mit-o 神話, 神代物語
瑞月の神話や神代物語
一度はミート(見よと)人にすすめる
- Mitologi-o 神話学, 神話誌
神話学ハナ蜀ア関所の物語 (靈界物語参照)
かミトロギーオ(神と弄妓を)扱つてある
- Mitr-o (一)法冠(大僧正, 僧正など祭式の際に戴く冠),
(二)往昔波斯人の用ひし一種の頭被
法冠を戴く人は僧正の
何人なるかしばしミートロ(見ておろう)
- Mitul-o [動] 貯貝ヒビ
貯貝のミトーロ(身取らう)と思ひ右手の指
貝に挿まれ顔しかめたり
- Mizer-o 貧窮, 困窮, 難渋
貧窮と難渋すれば博識の
人のミゼーロ(身^モ零^ゼ)となるぞ歎てき
- Mobiliz-i [軍] 動員す
元帥が動員するをエス語にて
「モビリーズ」と称呼するなり
- Mod-o (一)流行, 時好ヒ(二)哲文法, 様式, 形態
横縞が此の頃又も時好(流行)り出した
時代は昔ヘモード(戻)るなるらん
- Model-o 模型, 模範, モデル, 手本
この模型写して院展に出したなら
よくモーデーロ(もてる)と画伯言ふなり
- Moder-a 適度の, 中庸の, 中和の, 程よき, 節度ある
小^シくモーデーラ(小雲寺)適度の場所に建つてゐる
是中庸の人の設計
- Modern-a 近代の, 現今の, 今様の
近代のより勝れて旧芝居
何處モーデルナ(も出るな)田舎に限り

Modest-a 謙遜なる，質素なる，慎ましき，控目の
質素なる僧侶ころモデッタ(衣でスタ)スタと
托鉢廻る謙遜なる風で

Modif-i 修正す，加減す
御神書のモディーフィ(文字非)なれば校正が

修正す，加減す非常な手間取り
変調す，調節す，高低緩

Modul-i 〔音〕(一)転調す，(二)急あらしむ
音律が変調するモドゥーリ(も道理)なり
いつも調節する間なければ

Mok-i 嘲弄す
年ばかり取つて向ふの見えぬ人
モーキ(盲亀)と言つて嘲弄するなり

Mol-a 柔かき，柔軟なる
柔かき心の人のみモーら(網羅)して
紳士淑女の会員募る

Molekul-o 〔化〕分子
困難も積モレケーろ(もれ苦労)もやつて來い
私も宇宙の分子なりせば

Molusk-o 〔動〕軟体動物
水田モる(守る)コ(凄い)蛭奴が
足を吸ひ，血を流すなり軟体動物

Moment-o (一)瞬間，片時，(二)〔機〕能率
瞬間に見た盛装は絹物と
モメント(木綿と)区別付かぬものなり

Mon-o 金錢，貨幣
金錢がありさへすれば何モノ(物)も
自由に手に入る金の世の中

Monah(k)-o 僧，修道士，出家
役僧や出家に出逢ひ石童丸
高野で今モナーコ(も泣かう)とせる

Monarh(k)-o 君主，国君
何時モナーコ(もなる高)恩夢に忘るゝな
君主は我等の親にゐませば

Monarh(k)i-o 君主政治
おモナルキーオ(重なる樹を)柱となして民衆の
君主政治の建築に励めり

Monat-o 月(歳月の)
月満ちて女房分婉近づきぬ
我ガとモナート(友なりと)呼んで来ようか

Mond-o 世界，人界，世間，森羅万象
やんれぶし鈴木モンド(主モ水ド)の流行歌
世界に一人も知らぬものなし

Moned-o 〔鳥〕鳥の一種
何時までもガアガアガアとやかましい
一種の鳥モネード(もう寝所)に帰れ

Monogram-o 組合せ文字
寒天屋が造るモノダーモ(藻の倉も)
雑木を組合せ文字を水と砂風に書く

Monolog-o 〔劇〕独白
時代モノローゴ(物老後)の政岡殿様の
御用と聞いて独白して居る(老後の政岡千代萩)

Monomani-o 一事狂，偏執狂
一事狂，偏執狂者が何事にも
モノマニーオ(物真似を)する状の可笑しき

Monopol-o 専売権，一手販売，独占
専売権とつて売るモノポーろ(者ボロ)からう
俺も何とか発明して見よう

Monoteism-o 〔宗〕一神教
一切のモノティエモ(物帝主守る)と言うてゐる
一神教は文明國の教

Monoteist-o 一神教徒，一神論者
一神教徒は総てのモノティスト(物帝主統)御す
と，信仰して居る一神論者また

Monstr-o 異形醜怪の動物，妖怪，畸形
本山のモントロ(門主頭顱)をよく見れば
異形動物，妖怪とぞ思ふ

Mont-o 山
本願寺山門前に沢山の
モント(門徒)集り開門を待つ

Montri-i 見す，示す，表現す，指示す，顯はす
表モントリ(門取り)つくろひて仏徳を
示す坊主が心を表現す

Monument-o 紀念碑，紀念塔，紀念物
紀念碑や紀念物をばエス語にて
モヌメント(門名の塔)と称呼するなり

Mops-o [動] 独^チ
モツ(毛布そ)ツと敷きつめ独の寝床をば
造りて隠居楽み暮す

Mor-o 風俗，風儀
我国の羽織袴もモーロ(諸)越の
風俗うつせし服装なりけり
(=)道徳的の，徳義上の，
Moral-a (=)精神上の，無形の
モラーラ道徳的の，精神上の
言義とエスペラント語は言ふ

Morbil-o [医] 瘡疹
痡疹をばモルビーロ(守る非異老)とエス語は曰ふ
近所合壁危険感ずる

Mord-i (=) 咬む，(=) [化]腐蝕す
無住寺モルデ(守る爺)さんと夜行けば
後追ひ来る犬が足咬む

Morfin-o [薬] モルヒネ
木の間モルフィーノ(漏る日の)下にて悲觀者が
自殺せんとモルヒネを飲む

Morgau [副] 明日
雨がモガ(漏る轟)々風が吹いて居る
明日は必ず晴天となれ

Mort-i 死す
死すとても此神國を永久に
守モルティ(守る度い)者的心たふとき

Morter-o [工] 灰泥，添喰，モルタル
灰泥や漆喰を以て修理せよ
炊事場水がモルテ一口(漏るて老)翁が曰ふ

Moru-o 鮎
新らしき鱈の藁包み逆さまに吊せば
口から血がモルーオ(漏るを)覚れ

Morus-o [植] 桑
堆高くモルーソ(盛る桑)葉を五齡児が
瞬くうちに桑(食は)んとぞする

Moske-o (=) 麝香，(=) 麝香獸
モスコ(もう少)し遠くに居ても匂ふべし
芳香強き麝香なりせば

Mosk-o 回々教寺院
モスケーイ(喪主磬^イ)を叩いて進む回々教
寺院の葬式奇妙なりけり

Most-o (=) 葡萄搾汁，(=) 糖液(醸酵せしむべき)
風味良き葡萄搾汁チトばかり
御願ひモト(申すと)僕^{シベ}遣はす

Mo[§]t-o 陛下，殿下，閣下，等(対する尊称)
モシュト(もう一)つ昇級すれば少将で
閣下とならん陸海大佐は

Motiv-o 動機, 誘因, 理由
モティーヴオ(持ち棒)で殴り付けたる動機こそ
 理論につまりし髭虎の腕

Motor-o 〔機〕発動機
 発動機と勇ましく瓦斯力で, ジヤキジヤキ
 ジヤキと独りモトロ(廻マうとろう)

Mov-i 動かす
モーヴイ(もう微^ビ)駆^クとも動かすものかと
 狂人を, 取り押へたる柔道三段

Mozaik-o 裁縫細工^{ザイカク}
モザイコ(木材買)うて裁縫細工の品造り
 客にひさげる温泉場の風景

Muel-i 挽く(穀物を), 製粉す
 穀物を挽くこと人はムエーり(無營利)と
 エスペラントで称呼するなり

Muf-o (一)暖手套(毛皮などにて作れる円筒状のもの)
 (二)マントル(瓦斯燈の), (三)[機]鞄筒
ムーフオ(無法)者と知らずウカウカ暖手套
 貸し下されに奪られけるかな

Mug-i 吼ゆ, 怒号す
 獅子の吼ゆ如くに怒号する弁士
 つムード(頭^{ムジ})曲りの男なるらん

Muk-o 〔生理〕粘液
 新らしく貰ふたムーコ(婿)は粘液性で
 花嫁さんの顔色青し

Mul-o 〔動〕驃馬(驃と馬との雑種)
 驃馬の背にまたがり御ムーろ(室)指して行けば
 宇治の川瀬に白波が立つ

Mult-a 多数の, 多量の
 多数の金出して求ム^タタ(むる田)畠には
 殊に多量の収穫がある

Mumi-o 木乃伊^{ミラ}
 愛想なき木乃伊の様な人物に
 逢へば殊更ムミーオ(無味を)感ずる

Munici-o 〔軍〕軍需品(主に弾薬)
 軍需品殊に弾薬置く場所は
ムニツィーオ(無二地位を)選ばにやならぬ

Munt-i 組立つ
 組立つる度に潰れる此の結社
ムンテ(無運亭)主は詮方もなし

Mur-o 壁, 塀, 障壁
 塈廻はし障壁造り粧蒸す
ムーロ(室)を築く粧屋亭主

Murd-i 殺害す
 蚊虫なら殺害するも良し
 是から改ムルディ(むる泥)酔の害

Murmur-i (一)つぶやく, こぼす(囁く)
 (二)さわざわ音す(流水などの)
ムルムーリ(無留無理)聞いてつぶやく又こぼす
 流水風のやうに囁く

Mus-o 〔動〕廿日鼠
 小^チさうても矢張鼠の種類なれば
 廿日鼠も咬ムーン(むそ)うである

Musk-o 〔植〕苔
 庭の面にムスコ^ケ(蒸す苔)青く美はしく
 水苔の如^ク滑々々々としてる

Muskat-o 〔植〕肉豆莢^{ニツ}
 漢法医餅ム^ス(蒸す)カート(門)に往診し
 肉豆莢患者ながめて驚く

Muskol-o 〔解〕筋, 筋肉
 筋肉を労して震災救護班
ムスコーザ(息子老)人共に活動す

Muslin-o モスリン

モスリンの反物買つて駆けり込ム(む)
スリーノ(掏摸の)奴があとを付け来る

Mustard-o 芥子カシ

わさびをば沢山畑に作り込ム(む)
ヌタルド(棄まる同々)様の芥子の運命

Mustel-o 〔動〕 鼬ダ属

ムウムウとムヌテーろ(蒸す低火)の傍ニみて
鼬屁嗅ガいた時の苦しさ

Muš-o 〔昆〕 蝅

扱へどもムーシ(無性)矢鱈に蟻の奴
台所さして集まり来たる

Mut-a 噰の

啞の事思へば人はムータ(無歎)口を
たゞかず沈黙守る第一

Muz-o 〔神〕 詩神, ミユーズ

ムーゾ(無雑)作に詩神, ミユーズの神様は
世の有様を悲しく謳ふ

Muze-o 博物館, 陳列所

めムゼーオ(免税を)公然として受けて居る
博物館の陳列商品

Muzik-o 音楽

音樂を常に楽しムズーコ(む自己)のため
又世のためと稽古するなり

N

-N 目的格を示す語尾

「ン」と言へるその言^ハ靈^ハはエス語にて
目的格を示す語尾なり

Naci-o 国民, 国家

みナツィーオ(皆地位を)得ざれば国家, 国民も
日進月歩の世には立てない

Naft-o 〔鉱〕 石油

石油のランプに風と火が入れば
みナット(皆フーと)あはて消し止むるなり

Naftalin-o 〔化〕 ナフタリン

ナフタリンエスペラントは「ナタリーノ」と
改称しつつ通用してゐる

Naĝ-i (一) 泳ぐ, (二) 浮んでゐる

ナーチ(汝)等は家鴨の様に良く泳ぐ
浮んでゐるよ腰の辺まで

Naiv-a あどけなき, 飾なき, 質朴なる

あどけなき罪ナイヴ(ない婆)さん独居して
いと質朴なる生涯おくる

Najbar-o 隣人, 近所の人

隣人や近所の人が家筋を
彼は言つてみナィバーロ(皆威張らう)とす

Najl-o 釘

朝なタナイロ(ないろ)いろ説論きく度に
釘をさゝるゝ心地するかな

Najtingal-o 〔鳥〕 鶯

春立ちて谷の戸開き鶯が
美しい声でナティンガー(啼いてやがる)

Nanken-o 南京木綿

ナンケーノ(難家の)貧乏世帯は止むを得ず
南京木綿で辛抱するなり

Nap-o 〔植〕 蕎麥カラ

ナーボ(なんぼ)なりと買ひに来て呉れ安く売る
今年は蕎麥の当り年ゆえ

- Narcis-o 〔植〕水仙
立派ナルツィーソ(なる馳走)になる冬の客
水仙薫る床の間の上に
- Narkot-i 麻酔さす
確ナルコーテ(なる肯定)の付いた病人の
治療は局部を麻酔さすなり
- Narkotik-o 〔医〕麻酔剤, 催眠薬
麻酔剤, 催眠薬を飲んだのか
ナルコティーコ(鳴子近ふ)来る小雀の群
- Nas-o 魚梁ヤ
魚染懸けて流れ来る魚捕る様ナー(な)
ソ(そ)んなまどろし事は嫌ひだ
- Nask-i 生む, 産す, 産出す, 発生す
みナスキ(皆好き)な夫婦揃うて御子を生む
親の義務なるものが発生す
- Natri-o 〔化〕ナトリユーム
ナトリユーム発見したる学者をば
ナリーオ(名取り男)の子と世人賞むるも
- Natur-o (一)自然, 自然界, (二)天性, 本性, 性質
自然界事物は自然にみナトゥーロ(な通路)
ありて天性, 性質を發揮す
- Naturalism-o 自然主義, 唯理論
唯理論, 自然主義みナトゥラリスモ
(皆通ら理異角力)神靈界の強敵ならず
- Naǔ 〔数〕九
九つのはナウ(花美)はしく咲き匂ふ
三ツ五ナ教の神の御園に
- Naǔz-i 嘔吐を催さす
ナズイ(脳髄)の貧血したるその時は
忽ち嘔吐を催さすなり

- Nav-o 〔建〕本堂(礼拝堂の)
本堂にみナーヴ(皆坊)さんが集まり
て阿弥陀礼拝式を挙行す
- Navigaci-o 航海
日本海航海すれば暴風にナヴィガツィーオ
(浪が地を), 洗ひ去るまで高く上れり
- Naz-o 鼻
淨瑠璃の連中を天狗連と言ふ
鼻高しとのナーヴ(謎)なるべし
- Ne 〔副〕(一)……ぬ, (二)〔問投〕否, いゝえ
知らぬ, せぬ, いゝえ, 否よとネ(姉)さんが
妹の問ひを一々いなむ
- Nebul-o 霧, 霧モ
霧か露か知らネブーろ(ねブーロ)プロとして
うすい雲奴が山の根さまよふ
- Neces-a 必要なる, 必須の
風害を防がんために必要なる
菊の幹にもネツューササ(根枝支)ふる
- Negativ-a 消極の, 陰の, 負数の
消極の, 陰のたネガティーヴ(種が遂ば)れて
負数の合はぬ赤字経済
- Neglig-o 便服(起床後就寝前などに着る)
ネグリード(寝具類以上)この便服は起床後や
就寝の前に着るものぞかし
- Negoc-i (一)談判す, 交渉す, 商議す,
(二)〔商〕取引す, 売買す, 流通す
あやまらな(謝罪せな)ネゴーツ(願うて)
やらうと談判す, 取引するも商業掛引
- Negr-o 黒人, 黒坊
肉体の色のしぐろい黒人を
エスペラントはネーグロ(根黒)と曰ふ

Neg-o 雪

今朝見れば雪一面の銀世界
あネーチ(姉女)さんが歎こんで居る

Nek ［接］亦なし，亦……せず，亦然らず
神様を信仰すれば胸晴れて
山と積みてしネ(根苦)も亦なし

Nekrolog-o 死亡記事
ネクロロゴ(根黒朗子)死亡記事ある新聞紙
手にして涙に呉れるデレ助

Nektar-o (一)(神)神酒，(二)(植)花蜜，
(三)美酒，甘美の飲料
神酒，美酒，花蜜などをエス語にて
ネッターロ(根苦多漏)と称呼するなり

Neni-a ［相］何等の……ぬ
ネニーア(姉兄)は何等の〇〇ぬ事だらう
皆両親の御意見の儘

Nenial ［相］何故しても……ぬ
ネニーア(根にある)落花生の実は
何故しても，俺の眼にやとても這入らぬ

Neniam ［相］決して…ぬ，嘗て…ぬ，何時とても…ぬ
ネニーア(姉兄あん)決して〇〇ぬ父さんが
私にとつくり教へて居るゆへ

Nenie ［植］何処にも……ぬ
ネニーエ(姉兄へ)何処にも〇〇ぬ土産物
上げよと弟買つて帰り来'

Neniel ［相］如何しても……ぬ
ネニーエ(姉兄選る)嫁は如何しても〇〇ぬ
恋愛至上主義者の私(は)

Nenies ［相］何人のも……ぬ
ネニーエ(姉兄耶蘇)基督教に入信し
何人のも〇〇ぬ忠告

Nenio ［相］何れも……ぬ，無，虚無，零
ネニーオ(姉兄を)誤解してゐる世の人は
何れも〇〇ぬ清きこころを

Neniom ［相］少しも……ない
芳ばしき花なり乍ら山百合の
ネニーオ(根ぶく)向きは少しも…ない

Neniu ［相］誰も……ぬ
誰も〇〇ぬネニーウ(值に売)りてボロもうけ
蔭で舌出す悪い商人

Neologism-o 新語，新義
夏去れば新語義さえづるネオロギモ
(根居るギースも)秋には啼かず地中に潜む

Nep-o 孫
親の齋孫にうつりてネー(寝坊)よと
姑(シテ)婆さんの小言八百

Nepotism-o 縁者最負ジヤキ
何程に縁者最負するとしても
私は厭やだネポティスモ(寝坊ですも)の

Nepr-e 必ず，全く，是非に，どうしても
全くの腰抜けなれば是非に一度
必ずネーフレ(ねぶれ)〇〇〇臂を

Nerv-o ［解］神經
神經が過敏となりて鼠啼き
聞くさへもネルヴォ(寝る坊)害となる

Nest-o 巣
夏山に入りてホジロの巣を採れば
藻抜けのからのネスト(無い巣と)なりける

Net-a (一)正味の，掛値なしの (二)鮮明なる
純粹の，無垢の
純粹の品物にして掛値なしの
商品のネータヅ(値尋)ねて購ふ

Neūtr-a 〔文〕化 中性の
畢丸のネウトラ(根生取ら)れたる宦官は
皆中性の男子と変化する

Neūtral-a 中立の，局外中立の
ネウトラーら(寝うつら等)是は何だか眠い名だ
局外中立の俺の天窓に

Nev-o 嫁
我甥は生れ付いてのネーヴォ(寝坊)ゆへ
不良青年になるかと危ぶむ

Ni 〔代〕我等，私共，吾人，朕
私共は二人以上の集合ニ(に)
行かぬときめたる我等の覚悟
(肖像を飾り又暖炉)

Niē-o 〔建〕壁面の凹所(等を置くための)
壁面の凹所に肖像，暖炉おき
ニーチョ(日曜)毎に遊び楽しむ

Nigr-a 黒き
毛色黒き牛の背中にニーチラ(荷鞍)を
乗せて農夫が薪運ぶかな

Nihilism-o 虚無主義
虚無主義は我国体ニヒリモ(に非理すも)
万代一系の君主の食す国

Nihilist-o 虚無主義者
時じくニヒリスト(に非理すと)人に言はれつつ
自分は真理と確信して居る

Nikel-o 〔化〕ニッケル
この時計銀側でないニッケルと
曰はれて偽商ニケーろ(逃ろ)とする

Nikotin-o ニコチン
ニコチンを「ニコティーノ」とよむエス語学
チンでも狗でも猫でも構はぬ

Nimb-o 後光，背光
ニムボン(日本)の後光又は背光に
満洲國は生れ出でたり

Nimf-o (ニ)〔神〕女神(山林や水沢に住む)
仙女，美少女，(ニ)〔昆〕活動蛹
山林や水沢に住む女神また
仙女をさして「ニムフオ」と曰ふ

Nivel-o 水準，水平
水準を取り外したるハイカラが
社員ニヴェーろ(にべろ)り舐めらるゝかな

Niz-o 〔鳥〕鶴ハタ，隼ハサ
鶴や隼羽ばたき強くして
天津空ニーッ(にぞ)かけめぐるなり

-Nj- 〔接尾〕女性の人名等に附する愛称
「ヌイ」(縫ひ)針を持つといふ女性の人名に
附する愛称「ヌイ」と曰ふなり

Nobel-o 貴族
貴族とて恐るゝ事は要らないよ
遠慮せずして意見ノベーろ(述べろ)

Nobl-a 高尚なる，貴き，立派なる
世に貴き人ノーラ(のぶら)ヲラしてする状態
余り高尚なる人格と見えない

Nod-o 結び目，節，〔理〕交点
人間のノード(咽喉)は生命の結び目ぞ
その節々の食物を喰へ

Nokt-o 夜
太陽の光ノット(退くと)鳥羽玉の
夜の帳トキは降り来るなり

Noktu-o 鼻の一種
冬の夜ノットオ(の苦痛を)唄ふ声悲し
或は鼻の一種なるべし

Nom-o 名, 名称, [文] 名詞
豪ノーモ(農も)名を欲しがつて代議士の
 名称得んとて選挙競争す

Nomad-o 遊牧の民
 遊牧の民は住所も定まらず
 ノマード(野まど)ひぞして日を暮らすなり

Nombr-o 数
 極道が酒をばノムロ(呑む浮浪)して
 人に数々厄介をかける

Nominal-a 名義上の, 額面の
名義上の長ノミナーラ(のみなら)ず額面の
 吾顔立てて名を汚すまじ

Nominativ-o [文] 主格
 文法の主格はエスペラントにて
 ノミナティーヴ(脳皆低方)と称呼するなり

Nord-o 北, 北国, 北地
北国雷北尊翁が暴民に
 打たれてノルド(仲倒るど)つと後へ

Norm-o 規範, 準則, 標準
標準ノモ(乗るも)規範に乗らざるも
 吾れ準則を守るのみなり

Normal-a 順当の, 正格の, 正規の
順当の道シトシトとノルマーら(乗る馬等)
 いと正格の軍馬勇まし

Nostalgi-o 思郷病, 帰思病
 家系ノタガーオ(の棄る義意を)悲しみて
 思郷病をば発す出稼ぎ

(一)注意書, (二)覚書, 戸, (三)(音)音符
 Not-o 標註, 指控, 書附
 注意書, 覚書をば公開し
 演説すればノート(Noと)反対す

Notari-o 公証人
 世の人ノタリーオ(の多利を)保証するために
 公証人の必要あるなり

Nov-a 新しき
 新しき村を開いて武者小路
 広いノーヴ(農場)を作るゆかしさ

Novel-o 小説
 三界の経緯一切詳細に
 小説にしてノヴェーる(述らう)と思ふ

Novembr-o 十一月
 初冬の十一月の大祭に
 ノヴェムブロ(能弁振らう)と待ちかまへ居る

Novic-o (一)[宗]僧尼見習, 見習坊主,
 (二)見習, 初心者, 新参者
見習の坊主や尼は初心者
 まだノヴィーツ(延びと)る頭の髪は
 Nu [間]さあ,さて,そこで,いざ,それ (注意を呼び又)
 さあ, さても時節が来たに違ひない
 いざ 又(ぬ)かるなよ又(主)の御為

Nuanc-o (一)色合, 濃淡, 際
 (二)意味合, 同じ意味の僅かの相違
 ヌアンツ(何んと)また色合の良い染物だ
 畏れた意味合更に分らぬ

Nub-o 雲
ヌーボ式入道雲が現はれた
 また干魃の続く事だらう

Nud-a 裸体の, 裸出せる
 先生が海辺に立ちて招かる
 裸体の儘に行くはすまヌーダ(ぬだ)ろ

Nuk-o 背, 頂ウジ, 頸ク, 襟首エク
 襟首や背に思はヌーコぶ(ぬ瘤)が出来た
 余り按摩を頼み過して

Nuks-o 〔植〕核果，胡桃^{ヌク}（俗に）
 ヌクソ（暖くせう）と核果，胡桃の湯に入りて
 痔氣療養してゐる老人

Nul-o 零
 見も知らヌーろ（ぬ路）傍に咲ける花散ると
 見し夢の跡零となりぬる

Numer-o 番号
 暗の夜に足元見えヌメー口（ぬ迷路）を
 歩めば家の番号も知れぬ

Numeral-o 数詞
 読み馴れて数詞をよめばヌメラーろ
 （滑めらかに），口走るなり天の数歌

Numismatik-o 古銭学
 何も知らヌミ^{ヌミ}マティーコ（ぬ娘^{ヌヌ}稚^チ子^コ）に
 古銭学の，書籍見すれば竹筒かと言ふ

Nun 〔副〕今
 今ヌン（の）は犬であるまい自転車に
 乗つて出て来る青年の影

Nunci-o 法王特派公使
 法王の特派公使をエス語にて
 ヌンツィーオ（奴^ヌ地位翁）と称呼するなり

Nur 〔副〕唯，僅に，ばかり，のみ
 一夜さの宿の泊^{ヌリ}りは唯夢ぞ
 僅に寝^{ヌル}（ぬる）ばかりなりせば

Nutr-i 養ふ，營養を与ふ，飼ふ
 猫の子を貰つて養ふ愛らしさ
 またいヌートリ（犬通り）大切に飼ふ



-O 〔語尾〕名詞の語尾
 尻にオ（尾）を狹んで名詞（飯）を喰つて居る
 乞食犬奴が恐はさうにして

Oaz-o 沙漠中の沃地，オアシス
 オアシスは沙漠中の沃地なり
 エス語は之を「オアーツ」と曰ふ

Obe-i 順ふ，服従す
 尾を振つてオベーイか（おべつか）ばかり
 媚び順ふ，服従するも金のためなり

Obelisk-o 方尖碑
 オベリスコ（欧米里數高）旅にし立てば公園の
 彼方此方に建てる方尖碑の影

Objekt-o (一)物，物体，物件，(二)目的物，対象
 オブイエクト（覚え九斗）一石二石と対象し
 五穀物をば帳に記入す

Objektiv-a 客観的の
 客観的事より言はぬ非主觀者
 オブイエクティーヴ^ア（欧米驅逐馬）鹿者のみなる

-Obl- 〔接尾〕……倍
 人よりは〇〇倍の義務オブ（帶ぶる）
 我は責任多き身なれば

Oblat-o (一)オブラート（薬物を包み又は封緘などに用ふ）
 薬物の包み封緘などに用ゆ
 オブラートをば「オーラート」と曰ふ

Obligaci-o 債券，証券
 債券の利子の払ひに何時も彼もオリガツィーオ
 （追はれ勝ち）を証券書き変へる

Oblikv-a 斜なる，筋違^{ヌカ}の
 斜なる街道やちまた筋違の
 町をばオリクヴ^ア（尾振り狗は）走るなり

Obol-o 小銅貨(ギリシャ国古代の)
ギリシャ国古代の小銅貨珍しみ
見ればオボーロ(臘ろ)に○○文字あり

Observ-i 観察す, 注目す, 監視す, 観測す
我罪をオセルヴィと(負せる人)こそ明らかに
監視する必要ありと観察す

Observatori-o 観測所, 天文台
太陽に黒雲オセルヴァトリーオ
(蔽ぶせり場取りを)観測させぬ天文台の昼

Obstin-a 頑固なる, 強情の, 我慢強き
頑固なるオステイナ(男夫主地位な)る
高姫は, 強情の限り尽す悪婆々(靈界物語参照)

Obstrukc-i 塞ぐ, 遮げる, 阻碍す
穴塞ぐ, 遮るためにオストル(汚布守通る)
ツィ(駆逐)せんとて騒ぐ奸ジ狸リ等

Obtuz-a 鈍重な, にぶい
鈍重な感じの音のオットーザ(大舞踏座)も
田舎に行けば良く持てるなり

Ocean-o 大洋
大洋を渡りて帰る帆前船
オツエーノ(汚漬えあの)いたましきかな

Od-o (一)吟詠詩句(古代の), (二)短歌, 短詩
吟詠詩句, 短歌, 短詩は古代の
日本オード(王土)の国粹なりけり

Odor-o 香氣, 臭氣
麝香の香と思ひ居たるに屁の臭余りくさゝに
臭オドーロ(驚)いて居る

Ofend-i (一)侮辱す, 凌辱す, 犯す,
(二)気を悪くさす, 怒らす
人々を侮辱す, 気をば悪くさす
やうな方ではオフェンディ(おへん爺)様

Ofer-i (一)捧ぐ, 献ず, 奉納す, (二)寄附す, 提供す
真心を捧ぐる為に寄附すれば
オフェーリ(おひねり)さんを呉れる三ツ五ツ教

Ofic-o 官, 職, 職務, 任務.
官と職免ぜられたる人の家は
いつもオフィーツ(お櫃を)空にしてゐる

Oficial-a 官の, 公の, 職務上の, 法定の
八百屋オフィツ(お七)アーラ(あら)ぬ
情火に放火して, 官の罪人公の莫連

Oficir-o [軍]将校, 士官
戦は利あらず士官将校が
オフィツィーロ(大非血路)を開いて逃げる

Oft-e 屢々
女房に屢々意見して見たが
又もしくじるオッテ(大不貞)腐れ奴が

Ogiv-o [建]ゴシック式迫持ツィ
オギーヴ(大き棒)ゴシツク式の迫持に
肩こらして手伝人足

Ok [数]八
オ(奥)の間の八畳敷に床を取り
狸ではない安心をして

Okaz-i 生ず, 起る, 有る(事が)
乱生す此まオカーズ(置かじ)國のため
起る紛擾鎮定するまで

Okcident-o (一)西, (二)西国, 西洋
西又は西国, 西洋の言語は
オツティデント(お口へ出ぬと)老翁が曰ふ

Oksid-o [化]酸化物
酸化物なめて見たれば舌のオ(奥)
スィード(酸いぞ)よ飴でも食つて見ようか

Oksigen-o 〔化〕酸素
オクシゲーノ(奥繁の)病気は肺の患ひと
聞いて酸素を吸入させる

Oksikok-o 〔植〕つるこけもゝ
つるこけもゝはエスペラントの言葉にて
オクシコーコ(奥遂高香)と称呼してゐる

Oksav-o 〔音〕オクターブ, 〔印〕八折判
オクターブ, 八折判の音樂器
オッターヴ(多くたあぼう)と音色は弱し

Oktobr-o 十月
十月や小サ男ヲ鹿々紅葉踏みしめて
オクトーロ(奥飛ぶ鹿)の声ぞ悲しき

Okul-o 眼
波バ羅門シのオクーろ(大オ黒ク)主シの眼の玉は
鏡の如く光りも凄し

Okult-a 隠密の, 玄妙の
隠密の間にオクルタイ(送る大)計は
玄玄微妙の神策なりけり

Okup-i (一)占む, 占領す, 占有す, 塞ぐ, (場所, 時間),
(二)係はらす(身を)
場所を占む時間を塞ぐじれつたさ
オクーピ(おくび)にも出さぬ人のゆかしさ

Okzal-o 〔植〕酸模^{スン}
酸模を小供が沢山採つて食ふ
併し長かけたの捨てオクザーロ(置くだらう)

OI 〔接〕より, よりも, より一層^(比較を示す場合)(pliと共に用ふ)
鬼がオル(居る)大江山より, よりも一層に
恐ろしき哉今世の中

Ole-o 油
油をば搾つてオレーオ(俺を)困らせる
覚識一途^ツの罷虎の奴

Oleandr-o 〔植〕夾竹桃
夾竹桃の花を見ながら窓の辺は
オレアンドロ(俺安堵老)後を楽しむ

Oligarh(k)i-o 寡頭政治, 少数政治
寡頭政治, 少数政治もオリガル(折が在る)
キーオ(氣を)附けて居よ時勢の流れに

Oliv-o (一)〔植〕橄欖^{オラン}(果), (二)〔解〕橄欖体
橄欖の山に鎮まる主の神は
再び地上にオリーヴ(降りい望)月

Omar-o 〔動〕うみざりがに
人の顔見るより直に走り出す
うみざりがにオマーロ(を磨)追つかける

Ombr-o (一)陰, 影, 日蔭, 暗がり, (二)亡靈
オムブロ(殃霧浮浪)陰府の空は暗がりで
亡靈數多うごなはり居る

Ombrel-o 洋傘, 傘
春の日はオムブレーろ(温風玲瓏)空清く
花見に行くも洋傘を持つ

Omnibus-o 乗合馬車
田舎道乗合馬車に乗る時は
オムニブース(重荷物騒)と軽くして出る

-On- 〔接尾〕分割, 分数を示す
オソナ(女)には身に分割のなやみあり
接尾語事物の分数を示す

Ond-o 波
盆踊り人波の打つ中央の
高座に立ちてオンド(音頭)取るかな

Oni 〔代〕某, 或人, 世人
世人皆オーニ(鬼)ばかりと思ひしに
或人, 某は神にぞありける

Oniks-o 〔矴〕 縞瑪瑙
縞瑪瑙磁石見れば荒々しく
オニン(鬼糞)なるかと疑はれける

Onkl-o 伯父, 叔父
父母は早世されて我^アを救ひ
育つる為に伯父のオッコ(御苦勞)

Onobrik-o 〔植〕 いはあふぎ
いはあふぎ(植物)持つてお出よコレオノ^ヲ(お信)
リーコ(利巧)な子供よお菓子を上げよう

-Ont- 〔語尾〕 発動未来分詞の語尾
オント(音頭)をば発動未来分詞の
語尾に附すとは天地転倒

-Op- 〔接尾〕 集合を示す
集合を示す接尾語オ^ヲ(尾附)と言ふ
尻に着くもの凡て汚^モ腐^ヌなり

Opal-o 〔鉱〕 蛋白石
蛋白石は金剛石に次ぐ宝^ヲ石^ヲ
持ちて四ツ足オパー^ヲ(尾張らう)とする

Oper-o 歌劇, オペラ
歌劇をば見物せんと行き見れば
女優が舌オペー^ロ(をペロ)と出す

Operaci-o (一)学術上の作業, (二)手術, (三)運算
(二)作戦, (三)(商)取引
学術上の作業手術をエス語にて
「オペラツィー^ヲ」と称呼するなり

Opi-o 阿片
阿片をば「オピーオ」とエス語曰ふ
帶を解かない阿片(会へん)時には

Opini-i 思惟す, …と思ふ, …との意見なり
オピニーイ(帶兄イ)締めて私は出たと思ふ
遊所通ひとと思惟する外なし

Oportun-a 便利なる, 都合よき, 調法なる
便利なる貯水池また都合よき, 灌漑溝^ヲ(を)
ポルトーナ(掘る当夏)の干魃百姓

Opozici-o 〔論〕 反対, 異議, 対等, 〔天〕 衝
反対, 異議を唱へて衝いて来る, オポズィツィー^ヲ
(横暴隨意地を)張つて困らす

Optativ-o 〔文〕 願望法
願望法叶はずオッタティーヴ^ヲ(汚夫立棒)してゐ
乞食も昔は文法の名人

Optik-o 〔理〕 光学
光学の研究せんと理学者が
オッティーコ(負ぶ稚児)の顔色迄見る

Optimism-o 楽天主義
オッティミ^スモ(汚夫亭娘貴)らつて日夜
やにさがり, 楽天主義を發揮してゐる

Optimist-o 楽天主義者, 楽天家
汚れたるオッティミ^{スト}(汚風地見ずと)
楽天家, 世は天国と思ふ樂天主義者

Or-o 金, 黃金
黄金を最も貴重するものは
オーロ(欧露)を始め英米の國

Orakol-o 神託, 神宣
洋行の益良武^ヲオラコ^ヲロ(男^ヲ等航路)をば
何れに取らんと神託を乞ふ

Orang^ô-o (一)〔植〕香橙^{キンモ} (二)甘橘類の総称
植柑
枝オラン^ヂ (折らん条)件附けて蜜柑畑へ
一度五錢で客を引入る

Orator-o 弁士, 演説者
演壇に立ち現はれた演説者
やオラトーロ(やをら當路)の彈劾をする

- Orbit-o 〔天〕軌道, 〔解〕眼窩
 十字街オルビート(織る人)の影悉く
 軌道用心に眼窩落ち込む
- Ord-o 〔次第, 順序, 秩序,
 (2)[軍]隊次, (2)[博]目
 次第, 順序, 秩序の立つてオルド(居る道)場は
 瑞祥会に若くものはなし
- Orden-o 〔盟社, 教団, (2)僧班, 僧位, 騎士の品数,
 獲位, (2)勲章, 僧班又は品級の徽章
 僧位, 獲位, 勲章帶びた貴人達
 オルデーノ(居るでのう)と本門盟社の自慢
- Ordinar-a 通常の, 並の
 並の松の祥雲閣にオルディナーラ(居る爺なら)
 何れ通常の人であるまい
- Ordon-i 命ず, 命令す
 雨漏りのしてオルドーニ(をる堂に)和尚が
 大工を呼んで修繕を命ず
- Orel-o 耳
 耳澄んで居る真人世の音オ(を)
 レーろ(玲瓏)玉の声とぞ聴き入る
- Orf-o 孤児
 沢山に孤児オルフオ(居る方)を尋ねつゝ
 拾ひあつむる小サ子ヲ部々の臣
- Organ-o 〔生〕器, 器官, (2)機関, 機関新聞
 生物の器官, 機関新聞を
 以てオルガーノ(居るが能)動活躍
- Organism-o 〔有〕機体, (2)組織, 機構
 有機体団体組織を企て
 オルガニズモ(居る蟹○文)字のエス団
- Organiz-i 〔組織す, 編成す, 構成す, 創立す,
 (2)生気を授く
 学会を創立すべく有志者が
 集りオルガニーズ(居るが二次)に組織す

- Orgen-o 風琴, オルガン
 幼時から記憶してオルゲーノ(居る芸の)うちで
 風琴, オルガン最も堪能
- Orgi-o ランチキ騒ぎの宴
 酔つてオルギーオ(居る疑男)の肩に売春婦
 ランチキ騒ぎの宴に出入す
- Orient-o 〔東, 東国, 東洋
 東洋の東の国はオリエント(遠離遠島)
 日出づる島の神仙の国
- Origin-o 本原, 起原, 出所
 幽霊会社起源はオリギーノ(汚吏技能)を
 頭にかざして建てたが本原
- Original-a 〔本原の, 本来の, 創作の, 原造の,
 (2)新奇の, 新機軸の, (2)奇抜な, 変な
 奇抜なる大本団にオリギナーラ(居る気なら)
 世の本原の, 新奇の真理を教ふ
- Oriol-o 高麗鶯コウスイ
 此の山に高麗鶯がオリオーロう(居り居ろう)と
 囗トリの籠持ち別け入る鮮人
- Orkestro-o 楽隊, 雉方ハシタ
 楽隊や雉方のみ沢山に, オルケストロ
 (居る芸主徒勞)芝居も出来ず
- Orkide-o 〔植〕蘭科
 蘭科植物山に生えてオルキデーオ(居る氣で大)
 男, 鍔を肩にしひけ入りにけり
- Ornam-i 装飾す
 荒れてオルナーミ(居る浪)を書き造り物
 装飾すなり奉祝祭典
- Ornitologi-o 鳥類学
 山中に鳥類沢山鳴いてオルニ(居るに)
 トロギーイ(捕る気を)出して鳥類学者が進む

- Orografi-o 山岳誌
オログラフィー^オ(隕暗いお)もひし乍ら山岳誌
読みば見当の取れぬもの也
- Ortodoks-a [宗] 正統の, 正教の
正統の, 正教の後継者と選まれて
神都にオルトド^クサ(居ると毒さ)えもられた
- Ortografi-o [文] 正字法, 文字論
正字法, 文字論をばエス語にて
「オルトグラフィー」と曰ふなり
- Os [語尾] 動詞未来形の語尾
今生んだ猫の赤児オ^ヌ(雄)かメス(雌)か
未来でなくばとても分らぬ
- Osced-i 欠伸^{アビ}す
群衆が欠伸する迄開会せぬ, 多勢
込み合ひ尻オ^{ヌツ}ューディ(押す杖爺)困る
- Ost-o 骨
打身傷医者が局部を指先で
一寸オ^{ヌト}(押すと)骨にこたえる
- Ostr-o [動] 牡蠣^{カキ}
牡蠣料理喰つて見やうと八百政へ
行けばお客様が詰りオストロ(多過ぎとる)
- Ostracism-o 貝殻追放(希史)
グリーキの歴史を見れば貝殻追放の事ありぬ
オストラツイモ「王主統良地相撲」何んの事だい
- Ot- [語尾] 受動分詞未来の語尾
受動分詞未来の語尾をオト(落)きずに
注意して言へエス語の談話
- Ov-o 卵
鶏の卵を蒸して割つて食ふ
オーヴ^オ(黄部を)去れと横暴言ふ小児等

- Ovaci-o (一) [古羅馬] 小凱旋式, (二) 歓迎, 喝采
オヴァツィー^オ(お婆乳を)呑む児を抱え歓迎の
ために小凱旋式に列する
- Oval-o [幾] 卵形
オヴァー^ロ(お婆老)の頭に卵形の瘤^ヲ出来て
嫁は泣き泣きお医者へ走る
- Ozon-o [化] オゾン
化学に言ふオゾンをエス語は「オゾーノ」と
読んで通用さして居るなり
- P**
- Pac-o 平和, 和睦
又しても世界戦争の気配あり
平和の神がパーツ^オ(罰を)當てたのか
- Pacienc-o 忍耐, 我慢
神様のパツイエンツ^オ(罰得んと)する所をば
忍耐力で漸く免かる
- Patient-o 患者(医師に対して)
パツイエント(罰得んと)したのかこの頃
医者の家, 患者来らず困窮してゐる
- Pacifism-o 平和主義
パツィフィズモ(破地不意角力)戦争の慘を
恐れつつ, 常に唱ふる平和主義かも
- Pacifist-o 平和主義者
パツィフィスト(破地不意須止)戦争地上に
滅せんと, 平和主義者が活動するなり
- Paâcul-o [植] パチリ(唇形科の芳香樹)
芳香樹パチリは何か知らねども
これパチュ^ロ(は中老)人に不必要

Paf-i 射る

弓的を射る連中が矢を番ヶへ
弦を放てばパーフィ(音)と命中

Pag-i 支払ふ

パーギ(萩)の茶屋葡萄酒呑んだ酔さめて
パーギ(剥ぎ)取的の金を支払ふ

Pagod-o 塔, 伽藍(印度, 支那等の)
この塔パゴード(は郷土)の穴ア太ヲ寺にある
印度, 支那式塔に似しかな

Paĝ-o 頁

十頁五十頁は夢の間に
八百パーヂ(八字を)吾は書くなり

Paĝi-o 小姓, 近習

お小姓が主人の命令間違つて
思ひもよらぬパヂー才(恥を)かくかな

Pajl-o 薫, 麦稈

秋近み藁のパイろ(葉色)黄金の
波打ち寄する如く見ゆめり

Pak-i 包む, 荷造りす

パーキ(パーキ)パーキと荷物を包む運送店
荷造りする様見るも勇し

Pal-a 蒼白き, 青ざめたる

むかつパーら(腹)立つた時には蒼白き
顔の色まで赤くなり行く

Palac-o 宮殿

宮殿に詣でゝ祈り冤罪を
パラーツ(晴らさう)とする人の憐れさ

Palanken-o 奥, 轆轤

パランケーノ(破乱系の)男子に奥, 轶かせたら
上下左右に振りて困らす

Palat-o 〔解〕口蓋, 上顎

急速にパラート(パラリト)前歯脱けてより
口蓋骨の舌障り変る

Paleografi-o 古文書学

古文書学をひもとき見ればパレオグラフィー才
(破礼汚暗日を), 観けば善事の日こそ歎なき

Paleontologi-o 古生物学

古生物学何れもパレオントロギー才(破礼翁ン
トロツキーを), 見た如うな動物斗りなりけり

Paletr-o 絵具板, パレット

絵具板必ず用意しておけよ
明日の空はパレートロ(晴れて居らう)から

Palinur-o 伊勢蝦

伊勢蝦の背は鉄バリヌーロ(染ぬうろ)ぬろと
海の中では活動してゐる

Palis-o 杠

堤防が薩バリーンろ(ぱり揃)うて崩れたり
杭持つて來い修繕のため

Palisandr-o 〔植〕紫檀

山路ですバリサンドロ(っぽり三ツ盗^ド賊^ロ)に紫檀棹
奪^トられて芸者ベソをかくなり

Palm-o 〔植〕棕櫚

棕櫚箒持つて頭をバモの(はる者)を
播磨の守と仇名するなり

Palp-i 触覚す, 触知す

柔軟な手にてさパモビ(わるビ)ンピンと
触覚する度頭擡げる

Palpebr-o 〔解〕眼瞼

眼瞼をばエスペラントで称呼して
バモペーロ(張る屁不老)と曰ふぞ可笑しき

Palt-o 外套，外衣
現代はパルト(春と)冬との区別なく
紳士は何れも外套を被る

Pamflet-o 訴謗の小冊子，悪口本
パンフレットは人を誹謗の小冊子
エス語に之をパムフレート(版不礼と)と曰ふ

Pan-o 麵麩ヲ
人は皆麵麩のみにては生くるを得ず
宗教末バーノ(派の)教ヲでも食はねば

Panel-o 〔建〕鏡板，羽目板
エロの世は化粧道具の鏡板，羽目板
パネーろ(はねる)はねる程売れ行きがよい

Panik-o (一)恐慌，狼狽，(二)〔植〕稗ヲ
稲の田の稗の多きに狼狽し
恐慌來たし置きパニーコ(場に困)まる

Panoram-o パノラマ，見晴らし
見晴らしの良きパノラマを「パノラーモ」と
エス語学者が定めたるなり

Pantalon-o ズボン
このズボン少しく吾足に合ひ兼ねる
パンタローノ(番太郎の)奴に与へむ

Panteism-o 万有神教，汎神論
万有神教，汎神論は基督教徒等が
迷信家とパンティエモ(判定すも)

Panteist-o 万有神教徒
真実とパンティエスト(判定すと)言ふ
万有神教徒，一神教を不合理とそしれり

Panter-o 〔動〕豹(亜細亞産の)
亜細亞産の豹は恰も山神の
パンテーロ(番丁老)の如きものなり

Pantofl-o 上靴，スリッパ
上靴やスリッパを脱ぎ店に帰る
パントーロ(番頭風呂)に浴つて息する

Pantomim-o (一)手まね，身振り，
(二)身振狂言，だんまり芝居
手まね劇身振狂言する役者
パントミーモ(麺麩と身服)得んが為なり

Pap-o 法王，羅馬法王
加特利ヨリバーポ(派坊)王はおしなべて
羅馬法王の配下なりけり

Papag-o 〔鳥〕鸚鵡
姥ヲ桜ヲ色香の残る未亡人
鸚鵡これ見てパパーゴ(婆々後)家と鳴く

Papav-o 〔植〕罌子栗ク
罌子栗の花持つてお寺へ参るパパー(婆々)
ヴォ(坊)主これ見て眼尻を下げる

Paper-o (一)紙，(二)文書
文書また手紙に老女筆採りて
御機嫌伺ひパペー口(待る)と書く

Papili-o 〔昆〕蝶
蝶花と育てあげたる娘の子
増長なししてパピリーオ(破非倫汚)なす

Papyrus-o 紙草(パピルス)，パピルス紙
パピルス紙を紙パピルーソ紙とエス語学者
称呼がしつつ通話に便せり

Par-o 一対，一足(靴などの)，一挺(鉄などの)
一組(火箸などの)，匹偶ヲ
遠路をば徒步して來たる田舎人の
一足の靴パーコ(破露)する拇指

Parabol-o 抛物線
石ヲ礫ヲ抛物線にパラボーロ(バラボロ)と
落ちて危ふし子供群れ居つ

Parad-i (→ [軍]分列行進す, ← 見せびらかす
岩つパラーディ(原で)進み兼ねたる軍隊が
止むを得ずして分列行進す

Paradigm-o [文] 活用例, 範例
文法の範例, 活用例見れば
パラディグモ(巴螺字句も)必要あるなり

Paradiz-o [宗] 極楽, 天国
関ヶパラディーゾ(原地蔵)に輝被ぶせつゝ
一休極楽, 天国を称ふ

Paradoks-o 奇論, 傪説, 逆説
奇論, 傪説, 逆説を吐く奴子
パラドッソ(輩土糞)を垂れて遂に屁古垂る

Paraf-o 花押カハ
花押は只一つにて事足れど
沢山捺印するはパラーフォ(唐法)

Parafin-o [化] パラフィン
パラフィンは柔かい蠟の様なもの
エス語で之を「パラフィーノ」と曰ふ

Parafraz-o 意訳, 解釈
パララーゾ(ぞ)さくさしたる洋文を
意訳, 解釈する洋学者

Paragraf-o (→ [文] 項, 節, ← 同上の符号
項, 節を正しく区別する文法
パラグラーフォ(爬倂良法)とエス語言ふなり

Paralel-a [幾] 並行なる
大野パラレーロ(原玲瓈)花の匂ふ道
並行なるは二八の娘

Paraleogram-o [幾] 平行四辺形
幾何学の平行四辺形体を
「パラレログラモ」とエス語は言ふなり

Paraliz-o [医] 瘡瘍
精神の痡瘍した髭虎爺さんは
ザツクパラリゾ(婆乱離離)言を吐く

Parazit-a 寄生の, 寄食の
朝つパラズィータ(ばら爺沢)山に養老院
寄生の蟻のやうにより来る

Pardon-i 容す, 恕す
肱をパルドーニ(張るどうに)も斯うにも
ならぬ奴, 咎めをなさず容す善人

Parenc-o 親族, 親類
旧悪がパレンツ(ばれんと)ぞするとその時に
もみ消し運動してゐる親族

Parentez-o (→ 括弧, (← 挿入句, 註句(括弧内の)
括弧内の挿入句をばする文法
尻むすパレッテーゾ(ばれん態ぞ)見えける

Parfum-o 薫香, 薫香物
腹のパルフーモ(張る風も)なけれどお尻から
薰香物がズンズンと出る

Parget-o 嵌木カキ細工(床の), 嵌木床
嵌木細工俺より上手なものないと
威パルゲート(張る下等)の細工人かな

Park-o 公園
ほのぼのと陽気が立ちて公園に
パルコ(春小)供を連れて行くなり

Parker-e 暗ニに, 暗誦シテ
神宮の前に向へばチヨツクパル(跪チ座ツバる)
ケーレ(敬礼)は誰も暗に, 暗誦てゐる

Parlament-o 国会, 議会
国会や議会に出でゝ頬パルラ(張る等)
メット(面倒)臭い事を持ち出す

Parodi-o 戯翻詩文，地口
パロディーオ(破呂字意を)並べて作る滑稽家
戯翻詩文を生命とする

Paroh-o 牧師管区，教区
教区には不適任者と認めたら
牧師管区追パローコ(払ふ方)が良い

Paroksim-o 発作(病の)，激昂，高潮(病又は感情の)
感情の高潮または病熱の，発作を
パロクシスモ(八六九四三十百*)と言ふ

Parol-i 話す
木枯に木の葉のパローリ(ボロリ)散る如く
歯落ち話す事が苦しい

Part-o 分，部分，分け前
分過ぎて余り威バルト(張ると)承知せぬ
我町内的一部分でも

Parter-o 〔劇〕平土間
平戸間で劇を見ながら酒に酔ひ
余り覇バルテ一口(張るで牢)に投げ込む

Parti-o (一)党，同類，社中，班，一行 (二)相手方，
〔法〕原告又は被告当事者，(三)[音]部(楽曲の)
党，一行，原告，被告，相手方
当事者どもはバルティーオ(破流智を)出す

Particip-o 〔文〕分詞
文法の分詞をエスペラント語で
バルティツィー(張定智法)と称呼するなり

Partitur-o 〔音〕音律表
音律表見つづ奏楽する男女は
バルティトゥーロ(悪低頭臚)のガラクタ代物

Paru-o 〔鳥〕山雀ヤマセの類
四十がら山雀の類山奥に
潜みてバルーオ(春を)待つぞ愛らし

Pas-i 過ぐ，通過す，経過す
紀の国の蜜柑林を過ぐる時
いとかんパースイ(ほしい)風が吹き来る

Pasağer-o 旅客，船客，乗客
乗船の旅客は何れもパサヂー(董賛路)
大に嫌ひ困るものなり

Pasament-o 平打紐，筐縁サベ，レース(糸などの)
今買つた平打紐の立パサ(派さ)
メット(面倒)の無きやう腰紐にせむ

Paser-o 〔鳥〕雀
小雀は櫟の木の枝に数千匹(羽)
セーロ(井籠)に止まり囀づる

Pasi-o 情，情熱，情慾
情熱の籠つた人は世の中の
貧しきものにシンパシーオ(心配を)する

Pasiv-a 受身の，守勢の，〔文〕受動の〔財〕負債の
やつパスィーバ(ぱし婆)が本当の事言ふと
受身の嫁が服従をする

Pask-o 〔宗〕復活祭
チガレードパコパスコと喫んで居る
復活祭に何のことだい

Paskvil-o 落首，諷刺文
諷刺文，落首を為せばパスクヴィー(ば直く広う)
あらぬ噂の花が咲くなり

Pasport-o 旅行免状
旅行免状折角貰ふたバッポルト
(パス放棄ると)，最早洋行の目的立たず

Past-o (一)糊，(二)糊状の物，煉物
姫糊をうすく伸バスト(ばすと)洗濯の
衣類も柔はく肌障り良し

Pasteč-o コロツケ、肉パイ
階段をコロツケ落ちても汽車のパス(通行券)
テーチヲ(丁重)に放さず手に持つてゐる

Pastel-o 香錠, [薬]錠剤
医者が着て草根木皮をパステーろ(ば捨ろ)
そして錠剤飲めと勧める

Pastinak-o [植]オランダぼうふう
風薬オランダぼうふうをエス語にて
パステイナーコ(葉酸小菜香)と称呼して居る

Pastr-o 牧師, 僧
現代の牧師や僧はおしなべて
長い髪をば伸パストロ(ばす頭顱)

Paš-i 歩む
一パーシジ(端)は車に乗れど山路は
テクテク歩むが趣味はあるなり

Pašt-i 飼ふ(家畜を), 牧す
家畜をば放ち飼ふパシュティ(場須知)野にあり
花の園部を距る西二里に

Paštel-o 彩色墨筆(パステル)
色チョーク持ちて生徒が石段
パシュテーろ(階低路)の景を描き遊ぶ

Pat-o フライ鍋
フライ鍋油溢れて白煙り
パート(パッと)立つ時お鍋おどろく

Patent-o 専売特許, 特許
偽品をパテット(ば店頭)に並べ暴利商が
専売特許と人を詐る

Patologi-o [医]病理学
病理学に達して博士パトロギーヲ
(霸取ヲ義位を), 説明しつつ鼻高くすも

Patos-o [修]激語
激語して宗旨の敵を討たんとす
パトーン(罵倒僧)侶の意地の悪るさよ

Patr-o 父
山海の恵みを受けし家の主
父をパートロ(ば頭老)と敬ひ仕ゆ

Patrici-o 貴族(古代ローマの)
パトリツィーヲ(霸取り地位を)貴族に置いて古の
羅馬は遂に滅亡したりき

Patriot-o 愛国者
愛國者赤心つくし朝夕に
パトリオート(霸取王統)の万世を祈る

Patriotism-o 愛国心, 愛国
愛國心深き人ほどパトリオ(霸取王)
ティスマ(地主も)国の権利を守るものなり

Patrol-o [軍]巡察隊
何事かあらパトローロ(ばと浪々)する奴を
巡察隊の鵜の眼鷹の眼

Patron-o (一)守護神, 護国神, 守本尊
(二)保護者, 恩主
守護神あらパトローノ(あらば従勞の)事はせぬ
保護者も余程楽であらうに

Paž-o (一)休止, 停息, 中止, (二)[音]休止符
一旦は休止を為して試し見し
さらパッシュ(ば有象)無象は影かくすだらう

Pav-o [鳥]孔雀
立派なる玉を尾に持つ孔雀をば
エスペラントはパーウヲ(富有宝)と言ふ

Pavian-o 猕々ミミ
「パヴィアーノ」山の溪間の奥深み
猿數多棲みて児を産む

- Pavim-o 舗石シジ, 舗材(煉瓦, 木材, アス)
舗石を表門から敷詰めて
見たれパヴィーモ(ば美偉も)一入に増す
- Pec-o 片, 砕カ, 一片, 一塊
一片の土器の碎も考古学者
格ペーツオ(別)大事に保存するなり
- Peč-o 潤青チヤン, 松脂
「ペーチョ」ペーチョと泥田のやうな冬の道も
潤青で固めりやチヤンと良くなる
- Pedagog-o 児童教育者
高いペダ(屁だ)ゴーゴ(轟々)音させ門を出入る
生徒に困る児童教育者たち
- Pedagogi-o 児童教育法, 教育学
教育者児童教育法是を, ペダゴギーオ
(平手子義位応)とエス語言ふなり
- Pedal-o ペダル(琴などの)踏板, 踏子
風琴や自転車などの踏板を
調ペーダーロ(べたらう)と乗つて見て居る
- Pedant-o 銜学者, 生物識
銜学者知つた顔してエス語をば
エスペダント(ペラント)と言ふぞ可笑しき
- Pedel-o 寺院の小使, 大学の使丁
三ペデーロ(平出ろ)呼ばれて寺院の小使や
大学の使丁走り出て来る
- Pedik-o [昆]虱
爪の甲でペディペディーコ(ペチ殺)ろして
衣類にわいた虱探して
- Peg-o [鳥]啄木鳥キツ
ペーゴ(ペーコ)ペコと頭や体を振りながら
木に住む虫をあさる啄木鳥

- Pejzagô-o 風景, 山水
もろこしの長ペイザーチョ(平山上)の風景は
東洋唯一のながめなりけり
(宗教又は道)
- Pek-i 罪を犯す(徳上にいふ), 教に背く
宗教や道徳上の罪を犯す
壳主スはペー^キペー^キ平げてやれ
- Pekl-i 塩漬にす, 塩水漬にす, 塩藏す
名物の安ペー^{クリ}(平栗)を塩漬に
すれば一しほ重宝となる
- Pel-i 逐ふ
曲が津ヅ神猿世彦をば神人が
スペーりオル湖の中までも逐ふ(靈界物語参照)
- Pelerin-o 半マント, 肩マンテル
ペレリーノ(ペーリーの)日本に初めて来た頃は
半マント, 肩マンテルが目に立ちしと言ふ
- Pelikan-o [鳥]塘鵝ガシウ
塘鵝吾はまだ見ぬ鳥なれど
「ペリカーノ」とエス語言ふなり
- Pelt-o (一)毛皮外套, 裳衣, (二)毛皮
指先で毛皮外套撫でゝ見て
よくも滑ペト(べると)田吾作が言ふ
- Pelv-o (一)鹽, 水盤, 水鉢, (二)[解]骨盤
よくしゃべるヴ(喋る坊)主が淋しき道の傍に
盥廻しで人の金取る
- Pen-i 努力す, 力アむ
残るもの唯一ペニニ(兵に)至るまで
努力すべしと乃木將軍の令
- Penc-o ペニー(英國の貨幣)
英國のペニーとか言ふ錢出して
汽車のペンツオ(弁当)買つて食ふ客

Pend-i 懸りてあり，ぶら下つてあり，垂れてあり
山中に装置した孤落し具に
唯一ペーデ(遍で)懸りてありき

Pendol-o 振子
往来のペッドーろ(便道路)を広く開作し
振子をふつて案内をする

Penetr-i 透入す，穿入す，徹底す，見抜く，洞察す
透入する燈火に見抜く巣の中の
逸ペネートリ(平寝鳥)をしめて食ふなり

Penik-o 絵筆，絵刷毛
この絵筆，絵刷毛は何を描きしか
ペニーコ(紅濃)く附着して居り

Pens-i 考ふ，……なりと思ふ
物事を深く考ふ人なれば
二遍三ペス(遍推)考するなり

Pensi-o 恩給，年金
永の年官に仕えた報酬は
一ペスィーオ(片志意を)表はす恩給

Pension-o 下宿屋，寄宿舎
下宿屋の雪隠甚く汚れたり
ペスィオーノ(便水翁の)漏らしたるにや

Pent-i 後悔す
ペント(便地)を造らざりしを後悔す
是だけ人出あると知らずに

Pentametr-o 五韻脚の詩
「ペタメトロ」この語は五韻脚の詩を
頭はすエス語の詞なりけり

Pentekost-o 〔宗〕五旬節
今年の五旬節句の法会には
是非に一ペントコスト(遍出越すと)良い

Pentr-i 画く(彩画に言ふ)，彩色
ペントリ(ペン採り)て水彩画をば画くとて
写生板をば持ちて家出る

Peoni-o 芍薬シクヤ
芍薬のエス名之をペオニーオ(屁鬼男)と
匂はし用ひて良く通ふなり

Pep-i 嘸る，チッチッと鳴く(雀など)
庭前の松の梢にペーピー(ピッピッ)と
朝も早よから小鳥喌る

Pepsin-o 〔生理〕胃液素，ペプシン
胃液素の欠乏したる人の胃は
ペヌシーノ(屁風小便の)変調を來たす

Per 〔前〕を以て，を用ひて，にて
才子にて喋ペル(べる)を以て表面から
賢明らしく見ゆる偽せ者

Percept-o 知覚，識得
知覚をば「ペルツェト」とエス語にて
称呼するなりエスペランチストは

Perç-o 〔魚〕鱸スキの類
美^マ味^ミさうに舌鼓して鱸の類
食^ダペルチョン(へるチヨン)チヨン口腔が鳴る

Perd-i 失ふ，なくす
年々に山も畠もペルディ(減る地)主
忽ち銀行の信用失ふ

Perdrik-o 〔鳥〕鷦鷯
鷦鷯の小鳥をエスペラントにて
ペルドリーコ(秘露鳥児)と称呼するなり

Pere-i 繫る，滅亡す
屁ペレーイケ(ヘベレケ)に酔つて繫るゝ
身知らずは，一家滅亡するのも知らぬ

Perfekt-a 安全なる, 円満なる
 完全なるペルフェクタす(鈴々不榮苦助)
 かる為に, 皇大神の御前に献づる

Perfid-i 叛く, 裏切りす, 変節す, 売る(友や国など)
 水平社ペルフィーディ(尻流非事)を以て叛く
 世人の期待に全く裏切りす

Pergamen-o 羊皮紙
 ペルガメーノ(波留龜の)甲羅に擬^{アラフ}ふ羊皮紙を
 以て聖書の表紙に造る

Perimetrum-o 周囲, 周辺, 周長
 周長が周囲, 周辺注意すれば
 是は不可思議ペリメートロ(辺り見えとる)

Period-o (一) 期間(一定の), (二) [科] 週期
 一定の期間が来ると神経病
 酔^シ言^トしやペリオード(喋り嘔吐)を催す

Peristil-o 柱廊, [生理] 周囲列柱
 生理上周囲列柱, 柱廊は
 ペリスティーコ(屁放り酔うて色)が附いてる

Peritone-o [解] 腹膜
 腹膜を「ペリトネー^オ」とエス語言ふ
 医者が診断危篤とぞふ

Perk-o [魚] 鱸^{ヌカ}
 側近く侍ペルコ(べる小)姓に命令の
 鱸の魚を買って味ふ

Perl-o 真珠
 真珠をばエスペラントで称呼して
 ペル^ロ(秘露樓)とぞ使用するなり

Perlamot-o 真珠母, 青貝
 真珠母エスペラントは命名して
 「ペルラモート」と言つて使用す

Permes-i 許す
 旅客をば警官宿屋に出張し
 調ペルメースイ(べる名刺)で心を許す

Peron-o 昇降段, 戸外段(家の入口の階段)
 我家の昇降段をペロペローノ(ペロの)
 脣せた野犬が窺つてゐる

Persekut-i 迫害, 迫迫す, いぢめる
 よく滑ペルセクーティ(べる急く口)ながら
 腕力で, 迫害する奴沢山にあり

Persik-o [果] 桃
 桃の実を食ペルスイーコ(べる小^シ便^コ)が沢山に
 寝床に出ると姥の心配

Persist-i 固執す, 固守す, 頑張る
 固執する意義をエスペラントの言葉にて
 ペルスイステイ(減る死す智)と称呼するなり

Person-o (一)人物, 人(人格ある個人として)
 (二)[劇]登場人物, (三)[文]人称
 しゃペルソーノ(喋^シ舌^ハ僧^ク)の人格よりも
 演劇の, 登場人物余程優れる

Perspektiv-o (一) 遠近, 配景, (二) 遠景
 ペルスペクティーヴ(消^シ息^ルすべく地方)の
 様子遠近の, 知己へと送る富士の遠景

Peruk-o 仮髪^{カツ}
 首振れば滑ペルーコ(べるこ)ろげる安仮髪
 舞台で気を付け馬の脚共

Pes-i 秤る
 ペースイ(ペシ)ペシト警吏商店に出張し
 秤る度量衡の検閲をする

Pesimism-o 厥世主義
 ペスミミズモ(屁為い娘も)嫁入りの時を厭はしく
 思ひて厥世主義となるかな

Pesimist-o 厄世家

ペスミスト(屁為い娘と)世の人に陰口を
言はれて女子は厄世家となる

Pest-o (一) [医]ペスト, (二) 悪疫, 疫癆

ペストをば予防せんと衛生員
猫入らずにペス「ペスト」奪る

Pet-i 請ふ, 願ふ

ペーティ(平地)に坐して往来の人々に
救助請ふてる常習乞食

Petard-o 爆発缶, 爆竹

爆発缶, 爆竹の音に驚いて
大地にペタッド(へたるど)つと乙女が

Petol-i ふざける, 悪戯す

若者は「ペトーリ」ペトーリと長い袖
着けて娼妓^ヲにふざける醜さ

Petrol-o 石油, 燈用石油

石油の礮坑に年中出入する
ペトロー(斃倒労働)者憐れなりけり

Petromiz-o [魚] やつめうなぎ

ペトロミーゾ(窮途路溝)浚えて見れば沢山に
やつめうなぎがうごめいて居る

Petrosel-o [植] オランダ芹

エス語にてオランダ芹を命名して
「ペトロセー^ル」と称呼するなり

Pez-i 目方あり, 重さを有す

西洋の書籍は日本の書に比して
同ペーズイ(頁)にも目方ありけり

Pfenig-o ペニッヒ(独逸の貨幣凡五厘)

ペニッヒは独逸の貨幣凡五厘なり
エス語に之を「フェニーゴ」と曰ふ

Pi-a 敬神の, 信心深き, 敬虔なる

敬神の至誠一貫する人を
信心深き「ピーア」の師と言ふ

Pian-o ピアノ

ピアノをば神の御前に奏樂し
「ピアーノ」としてエス語用ゆる

Piastr-o 銀貨(西, 伊, 土の)

西, 伊, 土の銀貨山積せし金倉ひそかに
忍ピアストロ(び明日取らう)と泥棒窺ふ

Pice-o [植] 椧, はりもみ

桺またははりもみの木を皮むいて
ゑピツューオ(蝦杖を)作る老人なつかし

Pied-o 足

雪のみち遠く歩みて我が足は
氷のごとくピエード(冷え通う)しなり

Piedestal-o [建] 台, 基礎(碑, 銅像などの), 柱脚

冬の日に台石の上の銅像碑
夜は殊更ピエスター^ル(冷え通しだらう)

Pig-o [鳥] 鵠^{サザ}, 肥前鳥

肥前ピーゴ(肥後)日向の国は鵠の
最も多き靈地なりけり

Pigme-o 小人^ヲ, 一寸法師

ピグメー^オ(非具男女)小人の一寸法師さん
寄席で南瓜の舞踊るなり

Pik-i 刺す, 突く

二三ピーキ(匹)漸くに刺す生洲の鯉
冬のお客の馳走せんとて

Piked-o (一) [軍]哨兵, 小哨, (二) 一種のかるた遊び

哨兵線漸く突破し帰り来ぬ
ピケード(非警道)の真^ヲ正^ヲ中^ヲを

Pilastr-o 壁柱(角柱)

壁柱や角柱にべたべた不穏文字の
ピラストロ(ピラ数所)張り附けてあり

Pilgrim-i 巡礼す、廻国す

秋の山ピルグリミ(昼栗見)ながら四国山を
遍照金剛と巡礼するなり

Pilk-o 鞠、ボール、球々

ゴム鞠のやうに骨なき神の児を
ピルコ(蛭子子)の命コトと古事記曰ふなり

Pilol-o [薬] 丸薬

丸薬を呑めば腹中の百ピロ一(腸)
る(勞)苦するとて散薬すゝめる

Pilot-o [海] 水先案内者

水深は幾十ピロート(尋と)調べつゝ
艦尖に立てる水先案内者

Pin-o [植] 松

常磐木の松の梢にさし昇る
朝ジのピーノ(日の)麗はしきかな

Pin-i 抓める、撮む、挿む

ピンチピンチと継子の腕を憎さげに
抓める継母の心ぞ鬼なる

Pingl-o 留針、ピン

留針のピンをばエスペラントにて
「ピングル」とぞ称呼するなり

Pini-o [植] 樅の類

野生のピニーオ(桧似合ふ)材は樅の類
併し板には適当のもの

Pint-o 尖端、頂点

木材の尖端に乗りいたづら兒
ピント(ピンと)ばかり跳ねられて怪我

Pioč-o 鶴嘴ヅハ

鶴嘴で地面を掘れる夕暮は
ピオーチョ(火をちよ)ろちよろ石ころが発す

Pionir-o (一)[軍]工兵, (二)開拓者, 率先者, 先鋒

工兵や又開拓者, 率先者
エス語称してピオニーロ(日王仁郎)と曰ふ

Pip-o パイプ, 煙管, 筒, 管

巻煙草パイプの筒はエス語にて
ピーボ(火砲)と言つて使用するなり

Pipr-o [植] 胡椒, 胡椒の実

胡椒の実赤い奴をば口にすりや
唇までがピーポ(ピリプロ)とする

Pips-o ピツブ(家禽の舌病)

家禽の舌の病をピツブと言ふ
されどエス語はピソン(皮膚瘡)と称す

Pir-o [果] 梨

梨作る畑に降り立ち働く
はつピーロ(法々被^レ勞)人いとぞ勇し

Piramid-o (一)ピラミッド(埃及の), (二)[幾]角錐

埃及のピラミッドをばエス語にて
「ピラミード」と称呼するなり

Pirat-o 海賊

海賊の横行近頃猛烈と
警告發するピラート(平戸)警察

Pirit-o 黄鉄鉱, 硫化鉱,

黄鉄鉱, 硫化鉱石なめて見れば
舌端少しひリート(ひりっと)するなり

Pirol-o [鳥] 鶲^レ属, てりうそ

鶲鳥が山から山へピロー^レる(飛浪々)
処定めず移り行くなり

Piroz-o 〔医〕むなやけ
むなやけの激しき時に焼芋を
喰へば益々身ピローゾ(疲労ぞ)する

Pist-i 搗く, 搗き碎く
泥道を歩みながらもピステイ(びすてん)と
転げて途上に尻餅を搗く

Pistak-o 〔果〕ふすだしう
ふすだしうなる果物の名称を
「ピスターク」とエス語言ふなり

Pistil-o 雌蕊
広庭の牡丹の雌蕊蜂喰へり
主人は一たピステーろ(度捨てろ)と言ふ

Pistol-o ピストル, 拳銃
ピストルをエスペラントの言語にて
「ピストーろ」と称呼するなり

Pist-o 〔機〕唧子, ピストン, 活塞子
唧子器のピストン上下に動く時は
沢山な水ピシュト(しゅっと)出る

Pivot-o 枢軸, 心棒
何事も枢軸握り心棒あれば
ピヴォート(瀬縫と)なぞする必要も無し

Piz-o 〔植〕豌豆
豌豆の花の盛りの初夏の
空に雲雀がピーピーゾ(ぞ)鳴く

Plac-o 広場(市中の空地)
ア、暑い市中の空地大広場
涼みがてらにマーツ(ぶらつ)いて見る

Plac-i 気に入る, 意に適ふ, 好く
マーチ(不埒)なる下女が且那のお気に入る
なぞと奥さんやき餅をやく

Plad-o (→皿, 大皿, (←品(料理の)
ぶらード(ぶらと)軽業師の曲芸を
眼を皿にして手品見てゐる

Plafon-o 〔建〕天井
天井の裏に吊したマラフオーノ(振らほうの)
下駄に燕が巣をば懸けてる

Plag-o 崇タリ, 災禍, 苦難
何神の祟か災禍か此の苦難
免れん為にマラーゴ〔ブランコ(首釣)〕往生

Plan-o (→図面, 平面図, 設計図
雛形, (←設計, 方案
マラーノ(油の)染みたる紙に設計の
図面書くのは余程困難

Pland-o (→〔解〕あしのうら, (←底(靴などの)
あしのうら, 底をば天に向けながら
「マランド」と高姫智利の山見る(靈界物語参照)

Planed-o 〔天〕遊星, 惑星
此の頃は雨もマラネード(降らねど)天上の
遊星見れば光変れる

Plank-o 〔建〕床
床の上三寸ばかり離れてる
天井からマランコ(首吊)往生した奴

Plant-i 植う, 植附く
春の田を植うるがために架け釣瓶
野井戸に建てマランティ(プランティ)と汲む

Plantag-o おほばこ草
水腫病の薬とおほばこ草つみて, 腰に
ぶらんマランターゴ(ぶらん田吾)作が帰る

Plastik-o 塑造術
塑造術の名人マランティーコ(振らず小いこ)
なつて, ひかへてゐる人貴とがられる

Plastr-o 〔薬〕硬膏，貼膏
 プラストロ(浮浪主頭老)酩酊の余り頭割り
 硬膏はつて苦い顔する

Plat-a 平たき，扁平なる
 平田をば出雲で「プラータ」と呼んでゐる
 故に「アラータ」は平た(平田)きなるべし

Platan-o 篠懸木スカノ
 アラターノ(平田の)宮の境内に茂りたる
 篠懸木は世に鳴り響く

Platen-o 白金，プラチナ
 プラチナ(不埒な)る金属商もあるものだ
 天アラテー(ぶらてんの)偽物を売る

Plaūd-i 水音をさせる，バチャバチャいはせる
 アラッディ(浮浪爺)忍術使ひが忍び込み
 仙水渉りて水音をさせる

Pleb-o 賤民団(古羅)
 生活の道に困りて又あアレーボ(暴れんば)を
 業としてゐる賤民団隊

Pled-i 弁疏す，弁護す
 アレーディ(無礼事)件一審二審三審と
 法廷に立ち弁護士弁護す

Plej 〔副〕最も，最も多く
 アレ(無礼)もの最も多く集まれる
 ○団隊は最も悪アレし
 Plekt-i 編む，組む，結ふ(髪を)
 アレクティ(振れ口)があるを目當に稗史を編む
 原稿持ちて活字組む小僧

Plen-a (一)充実せる，全き，全部の，
 (二)多く含める，……に富める
 充実せる智慧と全き徳あれば
 神にアレーナ(不礼な)行オ為ナはせず

Plend-i 不平を言ふ，苦痛を訴ふ，こぼす
 無ニ膏をば幾何はつても腫^れ物が
 少しも潰れンディ(ぶれんで)不平を言ふなり

Pleonasm-o 冗言，贅言，重覆
 冗言や贅言ならべて重覆し，婦人に
 対してアレオナヌモ(無礼を為すも)

Plet-o 盆，盤
 盆持たず手攢みで客に茶を進む
 下女をアレート(不礼と)叱る親方

Pleūronekt-o 比目魚ヒメ
 比目魚一荷持ちて浜の女村々を，アレロネット
 (触れ売ろ値苦と)今日も出で行く

Plezur-o 愉快，快感，悦び
 迷信にかアレズーア(被れず老)後を愉快気に
 悅び暮す真人の徳

Pli 〔副〕より，より多く，一層
 去年より，より多く丹後アリ(鯛)
 豊漁のために安価に買へる

Plik-o 〔医〕糾髮病キハビウ
 美人ブリーコシラ(振り装コラ)へ
 立派にして居れど，糾髮病で人に嫌はる

Plor-i 泣く，涕泣す
 迷子が橋の袂に泣く見れば
 アローリ(ポロリ)ポロリと涙してゐる

Plot-o 〔魚〕諸子鱈ヒツジの属
 夏川の諸子鱈をば釣り上げて
 防腐の為に火に焙アロート(ぶらうと)する

Plu 〔副〕更に，もつと，其上に
 今更に利巧ア(振る)奴気が利かぬ
 もつと捨てときや世から捨てらる

- Plug-i 鋤く
百姓の僕^ヲる一キ(古着)身に纏ひ
牛の後から春田鋤くなり
- Plum-o (一) 羽, 羽毛, (二) ペン
新人^ヲる一モの(ぶる者)は鶯鳥の羽のペン
使つて洋紙に手紙書いてる
- Plumb-o 鉛
鉛なす極道息子の^ヲるボ(プルン坊)
活字拾ひも碌に出来ない
- Plura-j かなり多くの, 若干の
若干の, かなり収入ある^ヲるーライ(ブル, 来)
年もまた搾取するだろう
- Plural-o 複数
複数のワイフを持ちてブルジョアが
色男^ヲるラーろ(ぶるだろ)癪に触はらア
- Plus-o 絹綿天鵝絨ケメビ
^ヲる一ショ(資産家嬢)が絹綿天鵝絨沢山に
買ひ求め居り大丸呉服店にて
- Plutokrat-o 金力家
金力家は^ヲるトクラート(ブルドツク等と)
変らぬ横暴至極な奴かな
- Plutokrati-o 金力政治
^ヲるトクラティーオ(ブルドツク等地位を)得
庶民の上に立ち, 金力政治で横暴極むる
- Pluv-i 雨ふる
暖かき雨ふる春の野辺の色
いと新らしく^ヲるーヴィ(古び)たるなし

Pneumatik-o 〔理〕気体学
氣体学理学上からエス語にて
「^ヲネウマティーコ」と称呼するなり

Po 〔前〕づつ, の割合で
九年^ヲ(母^ヲ)九人の子供に一づつの割合で
与ふれば決して苦情起らず

Podagr-o 〔医〕脚痛, 足中風
脚痛で行く足元もポダポダー
ケロ(苦労)の多い因果者かな

Podi-o 物見台, 高段
物見台の高段に登り祝日の
仮装行列ポディー才(布袋和)尙見る

Poem-o 詩, 韻文
俗歌より韻の立派な詩の声は
一ポエーモ(歩好えも)のみやびやかにて

Poent-o 点数 (トランプの)
トランプの点数他より数百ボ(歩)
エント(得んと)力む勝負連中

Poet-o 詩人
彼の女こそ恋の白蓮大詩人
指鬘外道の著者とおポエート(覚えと)る

Poezi-o (一) 詩 (芸術としての), (二) 詩才, (三) 詩集
芸術としての詩また詩才, 詩集をば
ポエズィーオ(保栄隨応)とエス語曰ふなり

Pokal-o 盃
ポカーロ(ぽかーん)と開ひた口へ朱塗りした
盃運ぶ四斗兵衛が

Polemik-o 筆戦, 論争 (新聞紙上などの)
新聞紙雑誌の上の論争や
筆戦などをポレミーコ(暴礼魅稿)と曰ふ

Polic-o 警察
沢山のポリーツ(ポリスを)使ふ警察は
人民保護を標榜してゐる

Poliglot-o 数国語を能くする人
 数国語を能くする人等をポリゴロート
 (邦離玄人)とエス語の言ふは適當なりけり

Polygon-o 〔植〕蕎麦, 蓼属
 エス語にて「ポリゴーノ」と称呼するは
 日本語の蕎麦の名詞なりけり

Polip-o 〔動〕ポリップ, 〔医〕茸腫
 ポリップは茸腫病の英語なり
 エス語は之を「ポリーア」と言ふ

Polis-o 保険証券
 ポリーン(ぱり損)こねお金に詰りて大切な
 保険証券質入れを為す

Politeism-o 多神教
 多神教教師は諸種の神祭り
 ポリティエモ(ぱりていつも)懐ろ暖める

Politeist-o 多神教徒
 教職者ポリティエト(ぱりて居ると)知りながら
 多神教徒は信仰続ける

Politik-o 政治学, 政治, 政略
 ポリティーコ(捕吏地公)政治学をば振りかざし
 政治家ぶつて居るぞ可笑しき

Polk-o ポルカ (一種の舞踏)
 ポルカとは一種の舞踏面白い
 おどりに溺ボルココロ(ぼる心)戒しむ

Polur-i 光沢を出す, 磨く, 研ぐ
 光沢を出す為に諸道具磨くなる
 榛の葉ボルーリ(ボロリ)木枯に散る

Polus-o 極
 今世は黄金万能の極なれば
 ポルーゾ(ぼる相)談のみぞやかまし

Polv-o 霧, 埃
 霧, 埃捨場に尼僧忍び行き
 四辺うかがひボルヴ(棄る坊)の産ウ鬼ゴ

Pom-o 〔果〕林檎
 ポーモ(坊も)また一つ欲しいと言ひながら
 林檎烟に飛込む小供

Pomad-o 髪油, ポマード
 書生ツボマード(坊まあ如何)して美しく
 なつたかと, 頭を見れば光る髪油かな

Pomp-o 華麗, 壮麗, 級爛
 華麗, 壮麗, 級爛の衣服まとへるは
 ポムボ(懷中)の暖い富者なるらむ

Ponard-o 短剣, ヒ首
 ほつボナルド(懷ツ中ガなる道)具何かと
 調べ見れば, 不良少年短剣を呑む

Pont-o 橋
 板橋を渡りて行けばほんボント(ほんと)
 韶くなりけり一足毎に

Ponton-o 舟橋, 平底船
 舟橋や平底船に飛び込めば
 ボントー(本当の)橋のやうに安全

Popl-o 白楊ハヤギ, ポプラ
 珍の原白楊の枝に引かゝり (靈界物語参照)
 黄金の珍ボ(宝)ヲ(プロ)プロ揺れる

Popol-o 民, 人民
 耶蘇教の先ボ(鋒)ポーロ(人名)は神の民
 人民のため石にて殺さる

Popular-a 通俗の, 人気ある
 通俗の, 人気ある庭樹には
 あかしやボプラーラ(ボプラ等)早熟植物

Por 為めに、に対して、に取りて、せんがため
〔前〕だけ(価額など)、の間(時間)〔接〕…するには
弁護士が謝^ア金^アボル(ぼる)為めに被告人に
対して種々の問題持ち出す

Por-o 細孔
悲みの果てはポー口(ポロ)眼瞼の
細孔もれて涙流るゝ

Porcelan-o 磁器
磁器の名をエスペラントの名詞には
「ポルツェラーノ」と称呼してゐる

Porci-o 一人前、分量(食物の)
一人前昇^アボルツィーオ(ぼる地位を)得んとして
日々食ふものゝ分量まで減らす

Pord-o (一)戸、扉、(二)出入口、戸口
出入口、戸まで破れて雨毎に
ボルド(破露戸)となりし貧人の家

Pore-o 〔植〕 蕙^ア
うぬボレーオ(自惚れを)して居る婦人の
征伏には、蕙のお粥をソツト喰はせよ

Porfir-o 〔地〕 斑岩
青瑪瑙斑岩以て造りたる
ボルフィーロ(宝琉富色)の宝献上する

Pork-o 〔動〕 豚
石瓦除いた外は何物も
ボルコボルコ(ぼりぼり)と食べる豚かな

Port-i (一)持運ぶ、運搬す、(二)携ふ、着る(衣服を),
被る(帽を),穿く(靴などを), (三)耐える、忍ぶ
麥災に応じて物品持運ぶ
兇器携ふボルティ(ポンチ)坊かな

Portal-o 大玄関(大建築の)
大玄関大建築の請負工事
監督係りは大いにボルターろ(ぼるだらう)

Porter-o ポルター(英國のビール)
英國のビール「ポルター」エス語にて
「ボルテーオ」と称呼するなり

Portik-o 〔建〕前廊、柱廊
前廊も又柱廊も建造の不注意より
雨がボルティーコ(漏る小孔)いながらも

Portret-o 肖像
極道の肖像ながめ親父さん
さボルトレート(さぼる通例と)顔をしかめる

Posed-i 所有す
所有する資産残らず独占の
乱ボセーディ(暴政治)を主張する奴

Post 〔前〕の後^アに、の後^アに
手紙投げ帰る使ひの後には
黒いボスト(坊主人)が独り立つてゐる

Posten-o 持場、受持、職、任、〔軍〕哨所
受持ちし持場教会治まらぬ
担任教師のボステーノ(坊主低能)で

Postul-i 要求す
本山のボストゥーリ(坊主通り)なる布施呉れと
末寺坊主も要求するなり

Pošt-o ポケット、衣嚢^{カシ}
洋服のポケットの内に在る名刺
見ればボーシ(某署)の査公なりけり

Pošt-o 郵便
葉書では無礼なればと郵便を
封書で送るポシュト(保守党)爺さん

Pot-o 壺、瓶、缸^カ
酔ひどれが騒いだ揚句壺、瓶を
ポート(ぼと)投げやる乱暴狼籍

Potas-o ［化］苛性加里，ポッタース，炭酸加里
「ボターン」は苛性加里のエス語にて
うつかり呑めば生命失ふ

Potenc-a 力ある，勢ある，権力ある
梅ヶ谷跣足で逃げる力ある
肥えたボテンツア(布袋奴)○○に在り

Pov-i 出来る，能ふ
ボーグイ(防備)が出来るかどうか疑はし
大震災で潰れた砲台

Poz-i 姿勢を作る，容儀を正す，らしき見えをする
ボーズイ(房事)を行ふたらしき見えをする
落語家舞台で姿勢をつくる

Pozici-o 位置，地位，〔軍〕陣地
ボズィツィオ(防水地位を)何れの位置に
定めんと，村会議員が堤防巡視す

(一)[哲]実証の，(二)積極的，
Pozitiv-a (二)[電]陽の，〔数〕正の
ボズィティーヴア(防水地場)定まり実証の
了へた後，皆積極の設備初むる

Pra ［接頭］(時間的に遠き意を示す)
ヲ(ぶら)ぶらと時間を空費する人は
此世の中の穀漬しなり

Praktik-o 実地応用，活用，実用，実習
農村に灌漑筒を活用し
ヲタティーコ(部落地児)が実地応用

Pram-o 渡船，平船
ヲーモの(浮浪者)身の置き処失ひて
渡船守となりうき世を渡る

Prav-a 正当なる，正しき，誤なき
ヲーヴア(浮羅婆)が四国巡礼企てた
正当なる理由なけれども嫁が憎さに

Precip-e 殊に，就中，主に
國法にかレツィーペ(かぶれてべ)けをして
殊に尊き功労章得る

Preciz-a 正確なる，明確なる，精密なる
正確なる調査を了へて長官が
レツィーザ(府令遂雜)誌に載せて告示す

Predik-i 説教す
彼岸会に説教すると市中へ
坊主はレディーキ(触れ時期)待つてゐる

Predikat-o ［論］賓位，〔文〕説述部，従部
論理学の賓位文法の説述部，エスペラントは
レディカート(文例実価等)と曰ふ

Prefekt-o 知事
内相の怒りにレフエクト(触れ屁苦闘)など
いろいろとして知事になるかな

Prefer-i 選む，寧ろ……を好む，……の方を取る
忽ちに潰レフエリ(ぶれ減り)の無い品を
好むは人の選む所ぞ

Prefiks-o ［文］接頭語
文法上レフィクソ(文例引く素)は接頭語
エスペラントの称呼なりけり

Preg-i 祈る，祈禱す
信徒は顯幽二界の律法に
レーデ(触れじ)ものと朝夕祈る

Prelat-o ［宗］管長，教長，高僧
宗教の管長は部下を監督し
レラート(布令等統)御の役に任ずる

Prelud-o ［音］序曲
音楽の序曲を下手に奏づれば
忽ち耳にレルード(触れるぞ)評子の

Prem-i (一)压す, 压迫(二)握り締む, (三)虐ぐ,
す, 压搾す 抱き締む, 苦むる
人を压す, 虐ぐ^レ壓丸握り締む
^レーミ(無礼自)づから成せる投機慾

Premi-o (一)賞, (二)景物, 添物, プレミヤム
神の道教に対し^レミー^オ(無礼身を)
賞し景物に上級させる投機慾

Premis-o 〔論〕前提
前提として世人に大業に^レミーン
(触れ味噌)を, 附けて笑はれ失敗してゐる

Pren-i 取る, 手に取る
^レーニ(無礼に)も教主奪ひ取る虚報をば
手に取る如く新聞に出す

Prepar-i 用意す, 準備す, 支度を整ふ
投機慾者世人の批難防がんと
^レペーリ(無礼罵詈)して用意す新紙

Prepozici-o 〔文〕前置詞
エス語にて文法上の前置詞を
^レボズィ^イ^オ(文例保持置応)と称呼するなり

Prerogativ-o 特権, 大権
特権, 大権エス語は「^レロガティーヴ^{*}」と
称呼与へて通用さすなり

Pres-i 印刷す
^レースイ(布令紙)などを印刷する職工
無味乾燥とつぶやいて居る

Preskaū 〔副〕殆んど
^レスカ^ウ(布令數項)殆んど無用と
なりにけり, 知事が変つて改正令出し

Pret-a 用意せる, 身構せる, 将に……せんとする
不徳官将に紛乱せんとする自治政に
用意せる^レータ^ク(布令沢)山に出す

Pretekst-o 口実, 託言, 名義
阿蘇山の勝景に^レテ^クスト(触れて九州人)
等が, 口実設くる小国天国

Pretend-i 権利を主張す, 要求す
無茶苦茶に^レギリ^クス(権利を主張する男
^レンディ(無礼転爺)と人に嫌はる

Preter 〔前〕沿ひて, 傍を通りて
川水に沿ひてうろうろする男
余程気が^レーテル(ふれてる)と見ゆ

Preterit-o 〔文〕過去
過去の夢のみをば日々に繰返す, 婦人を気が
^レテリート(狂れりと)世人の笑ふも

Prez-o 代価, 定価
下されし品の^レギリ^クス(代価を査ぶるは
余りの^レゾ(無礼ぞ)と隠居戒め

Prezent-i (一)差出す, 提出 (二)示す, 表は (三)披露す,
す, 示呈す, す, 表現す, 紹介す
直接に手紙差し出す^レゼンティ
(無礼善智)識, 敬意を示す為に寺僕に頼む

Prezid-i 統轄す, 司会す
一地方統轄するため知事公が
^レゼイ^イデイ(布令自治)の政策発表す

Pri 〔前〕に就て, に関して
今回の事件に就いては我が不利と
頭^レリ(プリ)プリ振るおやぢかな

Primitiv-a 原始の, 本源の
本源の, 原始の日本の國^レミティーヴ^ア
(振り見て威ば)つて居たと外国人言ふ

Primol-o 〔植〕桜草
久し^レリモー^ル(振り貰ふ)た土産は桜草
花も実も無い心知らるゝ

Princ-o (一)君主, 王 (二)皇子,
 (小国の), 親王, (三)公爵
 プリンツォ(プリント)して威ばつて居る怪国の
 君主に皇子, 公爵の従者

(一)原理, 原則, (二)素, 精,

Princip-o 原論, 主義, 元質

万有の原理や素を研磨して

プリンツィー^ポ(富倫地歩)を占むる博士等

Printemp-o 春

春の日の陽気に浮かされ青年が
 公園内にアリテムボ(不倫転歩)する

Prior-o 修院長 (Abato に次ぐ)

修院長修業してゐる弱き尼僧に, 夜るは
 早くから眠アリオーロ(ぶり居ろ)と叱る

Prism-o [幾] 角柱, 角壇, [理]稜鏡

角柱を四隅に建てゝ賑はしく
 天晴れ大閑アリスモ(振り角力)取る

Privat-a 私の, 一個人の, 内証の, 私設の
 信女アリヴァータく(振る婆沢)山に寺の堂で
 私の, 一個人の仏だと言ふ

Privilegi-o 特権, 特典

男アリヴィレギーオ(振り美麗妓を)侍らすは
 吾特権なりと今業平が曰ふ

Pro [前] の為に(原因), に因りて, の結果として
 父の死後伯父等のために遺産をば
 捲き上げられてアロ(浮浪)するなり

Probabl-a 確らしき, 有りうる

アロバーフラ(風呂場ブラ)ンちびれて有りうる
 状見れば, 下婢の働き確らしきも

Problem-o 問題, 設題(学術上の)

問題と言へる名詞はエス語にて

アロブレーモ(プロ文例盲)と称呼するなり

Proced-i 手順す, 処理す
 アロツエーディ(プロ停止)銀行預金を処理すると
 弁護士頼みて手順するなり

Procedur-o 訴訟手続

アロツエドゥーロ(プロ邸道路)に出しやばる
 横暴に, 村民訴訟手続を為す

Procent-o 百分比, 利率

百分比エス語の名詞は「アロツエント」
 番台女もプロツェント(風呂銭と)るなり

Proces-o 訴訟, 訴訟行為

公事訴訟負けて腹立て団三アロ(郎)
 ツェーソ(追訴)して居る証拠求めて

Procesi-o [宗] 札拝行列

アロツエスティーオ(浮浪弟子を)集めて奇僧
 四国地を, 遍照金剛と札拝行列

Produkt-i (一)生ず, 産す, (二)製出す

名人は人の捨てたるアロドックティ
 (古道具で), 利益生ずる逸品製出す

Profan-i 神聖を瀆す

神聖を瀆すと言つて神職が, アロファーニ
 (風呂場に)七五三飾りして塩水を撒く

Profesi-o 職業, 本職

戦争後アロフェスティーオ(浮浪兵士を)救ふため
 職業紹介所をば開始す

Profesor-o 教授

大学の教授の身こそ苦しけれ
 アロフェソーロ(風朗閉窓籠)遊ぶ暇なし

Profet-o 予言者

予言者は何時も郷里に容れられず
 されど靈肉アロフェート(不老平途)行く

Profil-o (→) 横顔，横顔の像，(→) [工]縦断面図
瑞御魂横顔そつと窺へば
プロフィーる(不老英雄)の佛オカガぞ見ゆ

Profit-i 利益を得，利用す，利す
プロフィー(富老曾祖父)雷名利用する時は
利益を得ると悪い孫曰ふ

Profund-a 深き
慾深き不孝息子を育てたる
プロフンダ(父老不運だ)と世人が曰ふ

Prognoz-o [医] 予後
プログノーゾ(父老偶咽)腫れて病勢昂進し
予後は不良とドクトルが曰ふ

Program-o 番附け，次第
(→) 書，番組書，(→) 日割表，日程
神界のプログラモを調ぶれば
番附け，日割表が記しあり

Progres-i 進歩す
進歩すと言へる動詞をエス語にて
プログレース(不老令進)と称呼するなり

Projekci-o 射影図，射影
プロイェクツィオ(風呂へ口を)附けてがぶがぶと
新湯を飲み居り泥酔せしまま

Projekt-o 計画，設計，案
吾プロイェクト(父老永苦闘)して漸くに
世界改善計劃立てぬ

Proklam-i 宣言す，布告す
プロクラーミ(父老倉見)て我亡き跡は兄妹が
財宝分配せよと宣言す

Prokrast-i 延期す，縹延ぶ，遅らす
何処までも延期するのは当然だ
プロクラスティ(浮浪暮す爺)が会長だもの

Proksim-a 近き
近き内プロクシマ(風浪来水魔)の用心を
せよと予言者沿海に檄^{アマツ}れる

Proletari-o 無産者，貧民
無産者を「プロレタリオ」と称へつつ
貧民の血をすゝるブル級

Prolog-o 序言，序詞，開場辞，前口上
プロローゴ(父老々後)作り置いたる珍籍の
序言と前口上は自筆なりけり

Promen-i 散歩す，遊歩す
プロメニ(父老目に)眼鏡をはめて孫を連れ
芝公園を散歩するなり

Promes-i (→) 約束す，(→) …の見込あらしむ
プロメス(父老名刺)用ひて購売約束す
○○○の見込みあらしむ

Promontor-o 海角，岬(山又岩角の突出せる)
海角のやうな頭を振り立てゝ
プロモントーロ(浮浪門徒老)僧が行く

Pronom-o [文] 代名詞
代名詞エスペラントは改称して
プロノーモ(不老農網)と言つて用ゆる

Prononci-i 発音す
プロノンツィ(不良暢対)発音するも下賤にて
世人をヒンソクせしむるぞ憂き

Propagand-i 普及せしむ，弘布す，伝道す
神教を普及せしむる救世主，綾の
聖地のプロパガンディ(富老婆眼慈偉)

Propon-i 申込む，申し出づ，提議す，提供す
白蓮を預り呉れと申込む
青苔庵のプロポーニ(不老法尼)まで

Proporci-o 割合, 比準, 権衡, [数] 比例
喧嘩して頭割合ふたその跡に, プロポルツィーイ
(ボロボロ血を)溢^ヨしてありき

Propozici-o [文] 文, 命題
命題はプロポズィーイ(不良坊隨遂を)
する文章で, 神法学の智識を要する

Propr-a 固有の, 持前の, 自己の, 特有の, 独特の
プローラ(ぶらぶら)と遊んで暮す極道もの
天性固有の魂^{クモ}が出て

Prospekt-o (一) 趣意書, 目論見書, (二) [鉱] 踏査
屁の様な趣意書を配る周章者
プロスペクト(風浪洲屁糞土)臭氣紛々

Prosper-i 旺なり, 栄えてあり,
隆盛なり, 順境にあり
雄弁なプロスペリー(富老滑べり)口繁く
勇氣益々旺なりけり

Prostitui-i 売淫さす
プロステイトゥイ(不良主低頭畏)縮しつ警眼を
さけて娘に売淫さすも

Protagonist-o (一) 首唱者, (二) [劇] 主役
首唱者の主役の為にプロタゴニスト
(風呂焚こに, スト)ウブ碎けて水は来らず

Protekt-i 守る, 防ぐ, 保護す,擁護す
プロテッティ(風浪低空地)飛行機は御国を守る
外敵を防ぐに必要な軍器なり

Protektorat-o 保護(弱国を)
弱国を保護せんとてプロテクトラート
(不良手苦闘等と), 戰ひもする仲裁もする

Protest-i 異議を唱ふ, 抗議す, 拒絶す
家屋敷売らんとすれば旧弊な
プロテスティ(父老亭主爺)異議を唱ふる

Protokol-o 調書, 議定書
調書をば作製せんと欲すれど
プロトコール(浮浪処)の知れぬ人物

Prototip-o [物] 原型, 標準
プロトタイプ(プロと盜^{アサ}坊)標準として扱ふは
全く原型を謬つてゐる

Prov-i 試む, ためす
老人組毎日清遊試むる
休日さしてプローヴィ(父老日)と曰ふ

Proverb-o 謬, 倣諺
諺と言へる名詞はエス語にて
プロヴェルボ(不老兵流坊)と称呼するなり

Providenc-o 加護(神の), 摂理, 神意
神々の加護に由りてぞなやみ居し
プロヴィデンツ(父老尾臀痛)を忘れ玉ひぬ

Provinc-o (一) 州, 国, 省, (二) 地方, 田舎
各州の地方を巡るプロヴィンツ(浮浪貧党)
殊に四国は好き得意なり

Proviz-o 貯蓄, 用意
資産家のプロヴィーゾ(富老美装)し美味を食ふ
貯蓄豊かな楽隱居して

Provizor-a 一時の, 仮の
米相場騰つて俄にプロヴィゾーラ(富老美装等)
驕るも一時の夢となりぬる

Provok-i 挑む, 挑戦す
ブルジョアが挑戦するならやつて來い
天下のプロヴォーキ(風呂箒)持つて挑むよ

Proz-o 散文
散文や詩歌に秀でし文士をば
風雅の道のプロゾ(富老ぞ)と曰ふ

Prozelit-o 改宗者，新信者

改宗者，新信者等はアロゼリート(貧乏是里人)
ばかりと寺の坊主はこぼせり

Prozodi-o 韻律学

韻律学はアロゾディーオ(貧乏是字意を)余所
にして，ブルジョアの意ヲ迎へし学芸

Prudent-o 分別，思慮，用心

学者アルデント(振る電燈)老爺が分別も
思慮をも為さず芸者に狂ふ

Prujn-o 霜

身アルーニノ(振りの)する程寒き冬の朝
起き出で見れば霜ぞ積れる

Prun-o [果] 梅

木々の枝冬の寒さにアルーノ(裸ふ野)に
梅のみ独り知らず顔なる

Prunel-o [植] 西洋李^{ヨウイチ}(果)

肩をアルネーろ(振る寝ろ)ねろと子守歌
西洋李の木の下に聞こゆる

Prunt-i 貸す，借る

貸す，借ると言へる詞はエス語にて
アルンティ(振るん智)とぞ称呼するなり

Pruv-i 証す，証明す，証拠立つ

アルーヴィ(古びたる書卷箱から探し出し
家系の尊さを証する百姓

Psalm-o [宗] 讃美歌，聖詩

信徒がセサモ(分去るも)讃美歌の
声聞き付けて再び帰り来

Pseđdonim-o 匿名，偽名，雅号

匿名，偽名，雅号等をば使用する
歌人はセドニーモ(無性人煮薯)なりけり

Psikolog-o 心理学者

押並べて心理学者は世に立ちて
アスコロゴ(無粹古老後)は役立たぬなり

Psikologi-o 心理学

心理学に熱中すれば押並べて
アスコロギー(無粹鼓弄技男)となるも

Publik-o 公衆，公共

公衆と言へる名詞はエス語にて
ブリーコ(文武剛巧)と称呼するなり

Pudel-o スパニール種の犬

スパニール種の犬をばエスペラントにて
プデー(風情狼)とこそ称呼するなり

Puding-o プッディング(蒸菓子の類)

蒸菓子のプッヂングをばエス語にて
ブディング(風鈴子)と称呼するなり

Pudro 白粉^{ホワフ}，化粧粉

白粉を着けたる美人ブードロ(風盜)が
夜の都に徘徊ぞする

Puf-o 膨れ，膨らみ(衣服などの)，膨れ巣，空気枕

ブーフ(音)と連発したる屁の音に
膨れた腹も小さくなりけり

Pugn-o 拳，拳固

ブグノ(武具の)鉄扇よりも拳もて
なぐた方が余程こたへる

Pul-o [昆] 蛹

我肌を蚕に刺されて腫れ上がり
余りかゆさに朝ブー(風呂)に浴^ルる

Pulčinel-o 道化操り人形(伊太利大道芝居の)

ブチネー(振る地根路)道化操り人形は
伊太利国の大通芝居ぞ

Pulm-o 〔解〕肺

火と水の息つかさどる肺臓を
プモ(風雨流網)とエス語言ふなり

Puls-o 〔生理〕脈搏，鼓動

がたがたと身をプソ(振る僧)の脈搏を
調べて見ればおこり震へる

Pulv-o 火薬

此の寺に火薬を隠して居るだろと
問はれて驚きプヴォ(裸う坊)主等

Pulvor-o 粉末，細末

水囊で縦横にプヴォーロ(振るボロ)ボロと
抜けて出るなり麦の粉末

Pumik-o 〔鉱〕軽石，浮石

噴火山ブミーコ(踏み越)え登る脚下に
ゴロ付いて居る軽石の数

Pump-i ポンプにて水を揚ぐ，汲み出す

ポンプにて水を揚ぐるを形容して
プビ(風無火)とぞエス語言ふなり

Pun-i 罰す

国ブーニ(風に)従ひ外国犯人の
罪を罰する独立強國

Punc-a 深紅色の

ぶんブンツ(ブンブンと)菊の畠が匂ふてる
深紅色の花が開いて

Punc-o ポンス(飲料)

ブチ(芬著)なる飲料水が欲しくなり
バーに立寄り一ポンス(本吸)ひ見る

Punkt-o 点，句点

神典を著作する時十二ブン(分)
ット(句⁷読み)点をば注意して書く

Punt-o レース

レースい(泥酔)した人の跡から道行けば
プント(ぶんと)熟柿の匂ひするなり

Pup-o 人形

人形の様な美しい顔をして
人が居らねば尻からプーポ(放屁)

Pupil-o 〔解〕瞳^{ビキ}，瞳孔

ブピーロ(分広)い眼瞼の中にキラキラと
黒い瞳^{ビキ}が底光つて居る

Pupitr-o 簿記机，写字台，楽譜載等(斜面を有するもの)

簿記机名詞はエスペラントにて
「ブピートロ」と称呼するなり

Pur-a 清き，清潔なる，純粹の，無垢の

ブーラ(ブラ)布拉と無垢の男の子手を曳いて
終日清き遊覧をする

Purgatori-o 〔宗〕煉獄，淨罪所

宗教の煉獄又は淨罪所を，ブルガトリー
(ブルが取汚)とエス語は言ふなり

Puritan-o 清教徒

清教徒ブリターノ(振ブリた者)が氣に入らぬ
世人は残らず神の御子なり

Purpur-o 紫色

ブルブー口(ぶるぶる)と震ひおののき唇も
紫色に変りてぞ居る

Pus-o 〔医〕膿，膿汁

膿汁が身体一面滲み出だす
扱もブーン(物騒)な面付きなるかな

Pustul-o 〔医〕できもの

できものを潰プストゥー⁷ロ(ふす頭顱)血が流れ
膿が溢れて両眼に入る